

平成２７年度
全衛連ストレスチェックサービス実施結果報告書
(新・旧サービス結果)

平成２８年１０月

公益社団法人 全国労働衛生団体連合会
メンタルヘルス専門委員会

はじめに

平成 22 年度から実施している「全衛連メンタルヘルスサービス」（以下「旧サービス」という。）は、平成 27 年 12 月よりストレスチェック制度が創設されたことに伴い、サービスの内容を改正労働安全衛生法の規定に適合するべく変更し、「全衛連ストレスチェックサービス」（以下「新サービス」という。）として衣替えし、一層の充実を図ったところである。

本報告書は、平成 27 年度の新・旧サービスの実施結果を取りまとめたものである。

報告書の「第 1」は旧サービスから新サービスへの移行の概要、「第 2」は平成 27 年 4 月から 11 月までの旧サービスの実施結果、「第 3」は新サービスの実施結果を取りまとめた。

なお、全衛連は、改正法が公布された平成 27 年 6 月から 11 月にかけて、改正法に対応した新システムを順次希望する会員機関に提供したことから、新サービスの実施結果には 11 月以前に実施されたものも含まれている。

本報告書は、平成 27 年度の新・旧サービス合わせて約 9 万人のストレスチェック受診労働者のデータを集計・分析したものであるが、これらのデータは、全衛連ストレスチェックサービス提供機関から、受診労働者個人が識別できないように匿名化して提供されたものであり、あらかじめ受診労働者から「産業保健向上を目的とした学術研究等に利用することがある」旨の同意を得たものであることを付記する。

平成 28 年 10 月

公益社団法人 全国労働衛生団体連合会
メンタルヘルス専門委員会
委員長 黒木 宣夫

公益社団法人 全国労働衛生団体連合会
メンタルヘルス専門委員会

委員長 黒木 宣夫 東邦大学医学部 名誉教授

荒井 稔 日本私立学校振興・共済事業団
東京臨海病院 診療部 精神科部長

大西 守 (公社) 日本精神保健福祉連盟 常務理事

小田切 優子 東京医科大学 公衆衛生学講座 講師

中村 純 (社医) 北九州病院 北九州古賀病院 院長

夏目 誠 大阪樟蔭女子大学 名誉教授

松井 知子 杏林大学 准教授

森崎 美奈子 京都文教大学 産業メンタルヘルス研究所長

吉村 靖司 (医社) 弘富会 神田東クリニック
M P S センター 産業精神保健研究所 院長 (診療統括)

目 次

第1	旧サービスから新サービスへ・・・・・・・・・・・・・・・・
1	旧サービスの概要
2	新サービスの概要
3	新旧サービスの経過
第2	平成27年度実施結果（旧サービス）・・・・・・・・
1	ストレスチェック受診者の概要
2	ストレスチェックシート各項目への回答状況
3	心理ストレス反応18項目及び抑うつ感6項目の分析・・・・・・・・
	（1）男女別、年代別、職位別ストレス得点、抑うつ得点・・・・・・・・
	（2）仕事量、コントロール、サポートの状況とストレス得点、抑うつ得点・・
	（3）時間外労働時間とストレス得点、抑うつ得点・・・・・・・・
	（4）高ストレス、抑うつ傾向と身体愁訴・・・・・・・・
4	面接指導結果の概要・・・・・・・・
	（1）面接指導対象者
	（2）面接指導実施状況
5	職場評価結果の概要・・・・・・・・
	（1）事業場の業種別職場の健康リスク
	（2）職位別職場の健康リスク
	（3）職種別職場の健康リスク
第3	平成27年度実施結果（新サービス）・・・・・・・・
1	ストレスチェック受診者の概要
2	ストレスチェックシート各項目への回答状況
3	ストレスチェック結果の分析
	（1）全体及び高ストレス者のストレス得点
	（2）男女別、年代別、職位別ストレス得点
	（3）仕事量、コントロール、サポートと状況のストレス得点
	（4）時間外労働時間とストレス得点・・・・・・・・

(5) 相談希望者とストレス得点・・・・・・・・・・・・・・・・

(6) 各評価尺度別ストレス得点

4 新旧判定基準の検証

5 医師面接及び相談対応の実施状況

6 職場評価結果の概要・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) 業種別職場の健康リスク

(2) 職位別職場の健康リスク

(3) 職種別職場の健康リスク

第1 旧サービスから新サービスへ

1 旧サービスの概要

全衛連は、平成 22 年 4 月から、定期健康診断と併せてストレスチェックを実施し、高ストレス等の状態にある人に対して面接指導を実施する「全衛連メンタルヘルスサービス」を提供してきた。

<面接指導対象者の選定基準>

面接指導対象は、職場ストレス簡易調査票（厚生労働省が開発。以下チェックシートという。）の 57 項目の質問への回答で、

- ・ 心理的反応 18 項目の得点（最高 72 点）の合計が 51 点以上の者
- ・ 心理反応のうち抑うつ 6 項目の得点（最高 24 点）の合計が 17 点以上の者

の要件のいずれかを満たす人及びチェックシートに追加した質問「相談したいことがあるか」に yes の回答をした人である。

心理反応 18 項目に着目して面接指導対象選定基準としたのは、次の理由による。

- ① 現に高ストレス状態、抑うつ傾向にあると判定された人に対し、適切な指導・助言を実施すべきであること
- ② 面接指導対象選定基準は、労働者平成 11 年度「作業関連疾患の予防に関する研究」（労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書Ⅲ・2・4 職業性ストレス簡易調査票によるストレス簡易判定法の検討）により科学的妥当性を得ていること（なお、選定漏れを防ぐため、面接希望有の人は得点に関係なく対象とした）

<面接指導実施方法>

面接指導対象者には、「あなたのストレスプロフィール」（ストレスチェック結果報告書）に次の案内書が同封される。

- ・ 面接指導対象となったので日程調整をしたい旨
- ・ 面接指導はストレスチェックを実施した健診機関施設で行う旨
- ・ 面接指導を受けたこと及びその結果について同意なく事業者に報告しない旨

面接指導は、医師、保健師等の専門スタッフにより行われ、仕事の負担（量・質）、仕事のコントロール、上司・同僚のサポートについてのチェックシートへの回答、問診を踏まえて、適切な指導、助言、場合によっては専門医療機関への受診勧奨が行われる。

なお、上記はストレスチェックを実施した健康診断機関が実施する内容であり、ストレスチェック結果を踏まえ、事業場産業医が自ら面接指導を実施する契約の場合、

ストレスチェック実施機関は面接指導対象者リスト及び当該対象者に係る入手情報を事業場産業医に提供することをもってサービスを終了する。

＜事業者へ提供されるもの＞

ストレスチェック費用を負担する事業者には個々のストレスチェック結果については一切報告されない。事業者に提供されるのは、ストレスチェック結果から得られた職場ストレス環境を示す「仕事のストレス判定図」及び問題点等職場環境改善のためのヒントとなる事項をとりまとめた報告書である。

＜処理システム＞

以上のサービスを提供するためのコンピュータシステムは、中央労働災害防止協会の開発した「ヘルスアドバイスシステム」の提供を受け、面接指導処理に関するシステム充実を図って対応した。

2 新サービス

改正労働安全衛生法の施行に伴い、旧サービスで実施した「面接指導」の選定基準、実施方法について見直しする必要が生じた。

＜高ストレス者の判定基準＞

旧サービスにおいてはチェックシートの心理反応 18 項目に着目し面接指導対象選定基準の根拠としたが、新サービスにおいては改正法の趣旨に従い、ストレスチェック制度実施マニュアルに示された身体反応、さらには仕事のストレス要因、上司・同僚のサポートを含めた以下の高ストレス者判定基準を採用することとした。

- ・ 心とからだに現れた反応 29 項目の得点（最高 118 点）の合計が 77 点以上の者
- ・ 仕事のストレス要因 17 項目の得点（最高 68 点）と上司・同僚のサポート 9 項目の得点（最高 36 点）の合計が 76 点かつ心とからだに現れた反応 29 項目の得点が 63 点以上の者

新サービスにおいては、上記判定基準に該当する人の中からストレスチェック実施者（産業医等）の判断により、面接指導の必要のない人を除外して医師面接の勧奨案内がされる。

＜面接指導実施方法＞

旧サービスにおいて医師により行われてきた「面接指導」サービスは、新サービスでは以下のとおり「医師面接」及び「相談対応」サービスに分けて実施することとした。

旧サービスにおいては、面接指導に係る一切の情報を事業者には提供しないため、事業者は面接指導の情報を知ることができなかった。

改正法により、ストレスチェックの結果、面接指導を受けるよう勧奨された労働者からの申し出があった場合、事業者は医師による面接指導（用語の混乱を避けるため「医師面接」と整理）を実施しなければならないとされた。医師面接に至る手続きが事業者を介して行われることとなったことから、新サービスにおける医師面接については、秘匿性を廃止した。

ただし、医師面接については、事業者に対する申し出を前提としているため、高ストレスと判定された労働者が面接指導の申し出をしないことが想定される。このような事態に対応するため、新サービスにおいても、面接指導を受けたこと及びその結果について同意なく事業者に報告しない旨の契約を取り交わした場合、旧サービスによる秘匿性を重視した面接指導（用語の混乱を避けるため「相談対応」と整理）を継続実施している。

＜全衛連ストレスチェック処理システムの開発＞

新サービスの実施のため、全衛連はストレスチェック処理システムを独自開発した。

3 新旧サービスの経過

＜ストレスチェック受診者＞

平成 22 年度から平成 27 年度の新旧サービスの提供実績は表 1 のとおりである。

平成 27 年度の新旧サービスの利用者は併せて 145,592 人である。

表 1

集計期間	受診者数
平成 22 年度	25,919
平成 23 年度	35,051
平成 24 年度	69,765
平成 25 年度	79,512
平成 26 年度	75,311
平成 27 年度（旧サービス）	37,055
平成 27 年度（新サービス）	108,537

＜面接指導対象者＞

平成 22 年度から平成 27 年度の新旧サービスにおける面接指導対象となったのは表 2 のとおりである。

前述のとおり、旧サービスと新サービスとでは面接指導対象者の選定基準が異なっているが、結果として面接指導対象の選定割合は大きな差異がないことが判る。なお、これらの面接指導対象者には相談希望のみの者も含まれている。

表 2

集計期間	集計対象 受診者数	面接指導 対象者	面接指導 対象者比率
平成 22 年度	25,919	2,037	7.9%
平成 23 年度	35,051	4,121	11.8%
平成 24 年度	69,765	7,757	11.1%
平成 25 年度	64,592	7,366	11.4%
平成 26 年度	60,145	7,231	12.0%
平成 27 年度（旧サービス）	34,438	3,829	11.1%
平成 27 年度（新サービス）	55,450	6,514	11.7%

注 1) 集計対象受診者数は、集計・分析することに同意を得たデータ数である。

注 2) 面接指導対象者は、相談希望のみの者も含んだ数字である。

<面接指導実施状況>

平成 22 年度から平成 27 年度の新旧サービスにおいて、実際に面接指導をした表 3 のとおりである。

なお、旧サービスにおいては、面接指導対象となった人を誰が面接指導を実施するかについて、事業場産業医が自ら実施する場合と、ストレスチェックを実施した健康診断機関の産業医が実施する場合に分かれた。

ストレスチェックを実施した健康診断機関が面接指導を実施した場合は、その経過が把握できているが、事業場産業医が自ら実施した場合にはその内容が把握できていない。

このようなことから、表 3 はストレスチェックを実施した健康診断機関が担当した面接指導対象者に対する面接指導実施状況を取りまとめた。平成 27 年度（新）の面接指導実施数は医師面接の数字である。

なお、平成 27 年度の新サービスにおいて、ストレスチェックを実施した健康診断機関が秘匿性を重視した「相談対応」を実施したのは 71 人であり、事業者に申し出をして医師面接を受けた人 51 人と合わせると 122 名である。

表 3

集計期間	面接指導 対象者数	面接指導 実施数	実施 割合	専門医療 機関紹介数
平成 22 年度	695	140	20.1%	0
平成 23 年度	1,432	153	10.6%	4
平成 24 年度	3,197	190	5.9%	9
平成 25 年度	4,169	318	7.6%	8
平成 26 年度	3,425	291	8.5%	1
平成 27 年度（旧）	2,259	146	6.5%	2
平成 27 年度（新）	—	51	—	4

注 1) 面接指導対象者数は健診機関担当した数字である。

注 2) 平成 27 年度（新）の面接指導実施数は医師面接の数字である。

第2 平成27年度実施結果（旧サービス）

1 ストレスチェック受診者の概要

平成27年度において旧サービスを利用したのは37,055人である。このうち研究目的に利用することに同意した34,438人について集計・分析した。

男女別、年代別、業種別、職種別、職位別、雇用形態別内訳は表1～6のとおりである。

なお、割合は、四捨五入しているため合計が必ず100%にならない場合がある。

表1 男女別受診者数

単位：人（%）

男性	22,217（64.5）
女性	12,221（35.5）
計	34,438（100.0）

表2 年代別受診者数

単位：人（%）

～19	146（0.4）
20～29	4,758（13.8）
30～39	7,149（20.8）
40～49	10,814（31.4）
50～59	10,204（29.6）
60～	1,367（4.0）
計	34,438（100.0）

表3 業種別受診者数

単位：人（%）

農業・林業	41（0.1）
漁業	—
鉱業・採石業・砂利採取業	—
建設業	—
製造業	8,722（25.3）
電気・ガス・熱供給・水道業	6（0.0）
情報通信業	304（0.9）
運輸業、郵便業	62（0.2）
卸・小売業	312（0.9）
金融保険業	—
不動産業、物品賃貸業	—
学術研究、専門・技術サービス業	390（1.1）
宿泊業、飲食業	—
生活関連サービス、娯楽業	—
教育、学習支援業	12,642（36.7）
医療、福祉業	898（2.6）

複合サービス業	706 (2.1)
サービス業（他に分類されないもの）	—
公務（他に分類されるものを除く）	8,479 (24.6)
その他	1,876 (5.4)
計	34,438 (100.0)

表 4 職種別受診者数

単位：人（％）

専門・技術職	13,730 (39.9)
管理職	2,816 (8.2)
事務職	1,557 (4.5)
販売職	395 (1.1)
サービス職	—
運輸・通信職	—
技能職	625 (1.8)
その他	15,315 (44.5)
計	34,438 (100.0)

表 5 職位別受診者数

単位：人（％）

管理職	1,667 (4.8)
一般職	32,771 (95.2)
計	34,438 (100.0)

表 6 雇用形態別受診者数

単位：人（％）

正社員	13,491 (39.2)
出向	4,069 (11.8)
派遣	5,604 (16.3)
臨時	724 (2.1)
その他	10,550 (30.6)
計	34,438 (100.0)

<まとめ>

- ① 男女別では男性 64.5%、女性 35.5%で、年代別では 40～49 歳が最も多く（全体の 31.4%）、また、労働者を対象とするサービスであることから 20～59 歳で 95.6%を占めた。
- ② 業種別では教育、学習支援事業（36.7%）、製造業（25.3%）、公務 24.6%の割合が多かった。改正法施行前のサービスであり、これまでのサービスと同様、メンタルヘルスに先進的に取り組んでいる業種・事業場での利用が多かった。
- ③ 職位別では、管理職が 4.8%、一般職が 95.2%であった。
- ④ 職種別では「専門・技術職」が 39.9%と多かったが、「その他」が 44.5%と例示した職種の

いずれにも該当しないとの回答が多かった。同様に雇用形態別では、正社員との回答が 39.2%であったが、「その他」が 30.6%と例示した雇用形態のいずれにも該当しないとの回答が多かった。職種については、日本標準職種分類を参考に、雇用形態については労働契約法制を参考に選択肢を提供しているが、記入担当者には理解しにくかったかもしれない。

2 チェックシート各項目への回答状況

全衛連サービスにおいては、チェックシートの 57 の項目について、「そうだ」、「まあそうだ」、「ややちがう」、「ちがう」などの 4 段階の回答を求め、ストレス度の高い順に 4 点から 1 点の得点を付して評価している。

ストレスチェック受診者 34,438 人のチェックシート各質問に対する回答割合を表 7～表 10 に示した。各表の網掛け部分が、過半の受診者においてストレス度が高いと感じている事項である。

表 7 仕事の内容・状態に関する質問

A あなたの仕事について伺います。 (最も当てはまるものを選んでください。)		そうだ	まあ そうだ	やや ちがう	ちがう	無回答
質問 1	非常にたくさんの仕事をしなければならない	15.4%	47.0%	22.1%	8.3%	0.2%
質問 2	時間内に仕事が処理しきれない	15.5%	32.9%	29.4%	15.2%	0.2%
質問 3	一生懸命働かなければならない	29.0%	51.2%	9.8%	2.8%	0.2%
質問 4	かなり注意を集中する必要がある	20.8%	52.3%	17.1%	2.6%	0.2%
質問 5	高度の知識や技術が必要な難しい仕事だ	11.6%	44.4%	30.1%	6.8%	0.2%
質問 6	勤務時間中はいつも仕事のことを考えていなければならない	17.1%	46.3%	25.0%	4.5%	0.2%
質問 7	体を大変よく使う仕事だ	9.7%	23.7%	33.4%	26.2%	0.1%
質問 8	自分のペースで仕事ができる	7.6%	39.4%	33.6%	12.3%	0.2%
質問 9	自分で仕事の順番・やり方を決めることができる	11.5%	50.6%	24.2%	6.7%	0.2%
質問 10	職場の仕事の方針に自分の意見を反映できる	6.6%	51.1%	28.2%	7.1%	0.2%
質問 11	自分の技能や知識を仕事で使うことが少ない	3.4%	18.6%	53.0%	17.9%	0.2%
質問 12	私の部署内で意見の食い違いがある	4.4%	22.8%	48.4%	17.3%	0.2%
質問 13	私の部署と他の部署とはウマが合わない	2.2%	11.6%	49.0%	29.9%	0.3%
質問 14	私の職場の雰囲気は友好的である	21.3%	53.1%	14.5%	4.0%	0.3%
質問 15	私の職場の作業環境（騒音、照明、温度、換気など）はよくない	8.7%	20.2%	39.7%	24.2%	0.3%

質問16	仕事の内容は自分にあっている	12.4%	55.0%	20.2%	5.2%	0.3%
質問17	働きがいのある仕事だ	19.6%	49.9%	17.8%	4.9%	0.8%

表8 心理ストレス反応・身体反応に関する質問

B 最近 1 か月のあなたの状態について伺います。(最も当てはまるものを選んでください。)		ほとん どなか った	時々あ った	しばし ばあつ た	ほとん どいつ もあつ た	無回答
質問18	活気がわいてくる	16.5%	45.6%	25.1%	5.7%	0.2%
質問19	元気がいっぱいだ	15.9%	43.4%	26.6%	7.0%	0.2%
質問20	生き生きする	18.0%	44.0%	25.1%	5.7%	0.3%
質問21	怒りを感じる	25.8%	42.3%	21.1%	3.7%	0.2%
質問22	内心腹立たしい	29.7%	40.1%	18.8%	4.3%	0.2%
質問23	イライラしている	26.1%	43.4%	18.9%	4.5%	0.2%
質問24	ひどく疲れた	15.4%	39.7%	27.6%	10.2%	0.2%
質問25	へとへとだ	34.2%	33.5%	18.3%	7.0%	0.2%
質問26	だるい	24.9%	40.3%	20.1%	7.5%	0.2%
質問27	気がはりつめている	20.8%	40.2%	23.8%	8.2%	0.2%
質問28	不安だ	31.6%	36.9%	17.3%	7.1%	0.2%
質問29	落ち着かない	43.9%	33.4%	12.1%	3.5%	0.2%
質問30	憂うつだ	38.9%	34.1%	14.3%	5.6%	0.2%
質問31	何をするのも面倒だ	41.5%	36.2%	11.6%	3.6%	0.2%
質問32	物事に集中できない	42.6%	39.0%	9.4%	2.0%	0.2%
質問33	気分が晴れない	33.9%	40.1%	13.6%	5.3%	0.2%
質問34	仕事手がにつかない	61.4%	25.2%	5.1%	1.3%	0.2%
質問35	悲しいと感じる	61.7%	21.9%	6.8%	2.5%	0.2%
質問36	めまいがする	70.7%	16.2%	4.5%	1.5%	0.2%
質問37	体のふしぶしが痛む	61.2%	22.9%	6.4%	2.4%	0.2%
質問38	頭が重い、頭痛がする	47.1%	31.6%	11.7%	2.5%	0.2%
質問39	首筋や肩がこる	23.2%	30.3%	22.3%	17.1%	0.2%
質問40	腰が痛い	34.7%	31.5%	17.7%	8.9%	0.2%
質問41	目が疲れる	18.0%	33.7%	26.9%	14.3%	0.3%
質問42	動悸や息切れがする	71.0%	16.8%	4.2%	0.9%	0.2%
質問43	胃腸の具合が悪い	53.8%	28.2%	8.3%	2.6%	0.2%
質問44	食欲がない	71.2%	17.9%	3.0%	0.8%	0.2%
質問45	便秘や下痢をする	49.9%	28.8%	10.2%	4.1%	0.2%
質問46	よく眠れない	52.2%	28.0%	9.3%	3.4%	0.3%

表 9 周囲の支援の状況に関する質問

C あなたの周りの方々についてうかがいます。 (最も当てはまるものを選んでください。)		非常に	かなり	多少	全くな い	無回答
質問47	気軽に上司と話ができますか。	10.5%	32.7%	43.4%	6.3%	0.2%
質問48	気軽に同僚と話ができますか。	18.5%	45.4%	27.3%	1.7%	0.2%
質問49	気軽に家族・友人と話ができますか。	43.4%	35.5%	12.4%	1.2%	0.6%
質問50	あなたが困った時、上司はどれくらい 頼りになりますか。	14.0%	35.0%	36.5%	7.4%	0.3%
質問51	あなたが困った時、同僚はどれくらい 頼りになりますか。	14.1%	40.0%	34.8%	4.0%	0.2%
質問52	あなたが困った時、家族、友人はどれ くらい頼りになりますか。	35.9%	37.6%	17.2%	1.9%	0.5%
質問53	個人的な問題を相談したら、上司はど のくらい聞いてくれますか。	10.3%	31.4%	41.0%	10.0%	0.5%
質問54	個人的な問題を相談したら、同僚はど のくらい聞いてくれますか。	11.1%	35.3%	40.0%	6.2%	0.4%
質問55	個人的な問題を相談したら、家族・友 人はどのくらい聞いてくれますか。	40.3%	36.7%	14.1%	1.7%	0.3%

表 10 満足度に関する質問

D 満足度について伺います。 (最も当てはまるものを選んでください。)		満足	まあ満 足	やや不 満足	不満足	無回答
質問56	仕事に満足だ。	12.6%	51.8%	21.5%	7.1%	0.2%
質問57	家庭生活に満足だ。	27.2%	50.0%	12.6%	3.0%	0.3%

<まとめ>

- ① 仕事の負担あり（量・質）の質問に「そうだ」「まあそうだ」と回答した者は、質問 2 の「時間内に仕事が処理しきれない」（48.4%）を除きいずれも 5 割を超え、特に「一生懸命働かなければならない」の項目は 8 割を超えるなど勤務時間中の仕事の負担感が強く出ている（表 7 質問 1～6）。
- ② 仕事のコントロールありの項目で「ちがう」「ややちがう」と回答した者は合わせて 3～4 割であり、仕事のコントロールが特にないとする回答（「ちがう」）は 1 割程度にとどまっている（表 7 質問 8～10）。
- ③ 心理ストレス反応に関する質問では、活気（質問 18～20）がない（「ほとんどなかった」「時々あった」）に回答した者は約 6 割であったが、怒り・イライラ感（2 割超、質問 21～23）、疲労感（3 割、質問 24～26）、不安感（2～3 割、質問 27～29）、抑うつ感（1 割、質問 30～35）を感じている者は、「しばしばあった」「ほとんどいつもあった」を合わせ 2 割 5 分程度であった。
- ④ 身体反応に関する質問では、目の疲れ（質問 41）首や肩のこり（質問 39）を訴える者が「ほとんどいつもあった」「しばしばあった」を合わせ 5 割であったが、その他の身体愁訴について

は1割程度にとどまった（表8 質問36～46）。

- ⑤ 周囲のサポートに関する質問では、上司からのサポートが低いと感じている者は「多少」「全くない」を合わせて5割前後（表9 質問47,50,53）、同僚からのサポートが低いと感じている受診者は3割～5割弱程度（表9 質問48,51,54）であり、上司のサポートが感じられない者が多い。

3 心理ストレス反応（18項目）及び抑うつ感（6項目）の分析

旧サービスにおいては、

① 心理ストレス反応（表8の18項目）の得点が51点以上の人（高ストレス状態）

② 抑うつ感（表8 30～35の6項目）の得点が17点以上の人（抑うつ傾向）

を面接指導対象者の判定基準とし、③ストレスチェックシートの相談希望の有無欄に希望ありと記入した人を加えて面接指導対象者としている。

このうち、①、②、③のいずれかに該当した平成27年度受診者は34,438人（男性22,217、女性12,221）である。

以下、①の心理的ストレス反応18項目の合計点数（高ストレス状態を表わす指標。以下「**ストレス得点**」という。）及び②の抑うつ感6項目の合計得点（抑うつ傾向を表わす指標。以下「**抑うつ得点**」という。）について、男女別、年代別、職位別に、さらには、仕事量、仕事のコントロール、上司・同僚のサポートとの関係を見ていく。

（1）男女別、年代別、職位別ストレス得点、抑うつ得点

ア 男女別平均ストレス得点、抑うつ得点

男女別平均ストレス得点、抑うつ得点は表11のとおりである。

表11 男女別ストレス得点及び抑うつ得点

	全 体			面接指導対象者		
	人数	ストレス得点	抑うつ得点	人数	ストレス得点	抑うつ得点
男性	22,217	35.7	9.8	2,339	55.0	17.2
女性	12,221	37.1	10.0	1,490	55.2	17.0
全体	34,438	36.2	9.9	3,829	55.1	17.2

イ 年代別平均ストレス得点、抑うつ得点

年代別平均ストレス得点、抑うつ得点は表12のとおりである。

表12 年代別平均ストレス得点、抑うつ得点

年代	全 体			面接指導対象者		
	人数	ストレス得点	抑うつ得点	人数	ストレス得点	抑うつ得点
～19	146	34.2	9.8	14	54.5	18.2
20～29	4,758	36.7	10.1	536	54.9	17.2
30～39	7,149	36.8	10.0	840	55.2	17.0
40～49	10,814	37.2	10.1	1,357	55.5	17.2

50～59	10,204	35.3	9.6	1,013	54.5	17.2
60～	1,367	31.6	8.5	69	54.9	18.3
全体	34,438	36.2	9.9	3,829	55.1	17.2

ウ 職位別平均ストレス得点、抑うつ得点

職位別平均ストレス得点、抑うつ得点は表 13 のとおりである。

表 13 職位別平均抑うつ得点及び平均ストレス得点

職位	全 体			面接指導対象者		
	人数	ストレス得点	抑うつ得点	人数	ストレス得点	抑うつ得点
管理職	1,667	36.9	10.1	185	53.7	17.0
一般職	32,771	36.2	9.9	3,644	55.1	17.2
全体	34,438	36.2	9.9	3,829	55.1	17.2

(2) 仕事量、仕事のコントロール、上司・同僚のサポートの状況とストレス得点、抑うつ得点

職場ストレスは、仕事の要求度、仕事のコントロール、仕事のサポートの関係で規定され（NIOSH の職業性ストレスモデル）、仕事の要求度（負担）が大きいほど、また仕事のコントロール、仕事のサポートが低いほどストレスは強くなると考えられている。

平成 27 年度受診者（旧サービス）について、仕事の負担（量）、仕事のコントロール、仕事のサポートとストレス得点、抑うつ得点の関係について見た。

ア 仕事の負担（量）とストレス得点、抑うつ得点

仕事の負担（量）とストレス得点、抑うつ得点の関係を図 1 に示した。

仕事の負担に関する質問は、表 7 の質問 1～3 である。この合計点（最大 12 点）が 9 点以上の場合（各問の平均が 3 点以上、すなわち概して「まあそうだ」より以上に回答した場合が該当）と 9 点未満の場合を比較した。

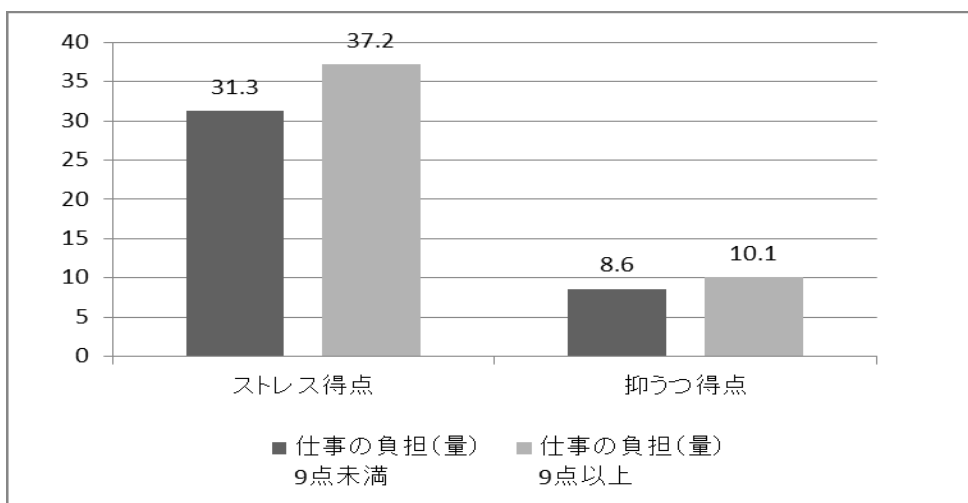


図 1 仕事の負担（量）と平均抑うつ得点、平均ストレス得点

イ 仕事のコントロールとストレス得点、抑うつ得点

仕事のコントロールに関する質問は、表 7 の 8 問～10 問の 3 問である。同様に合計点（最大 12 点）が 9 点以上の場合と 9 点未満の場合を比較した。

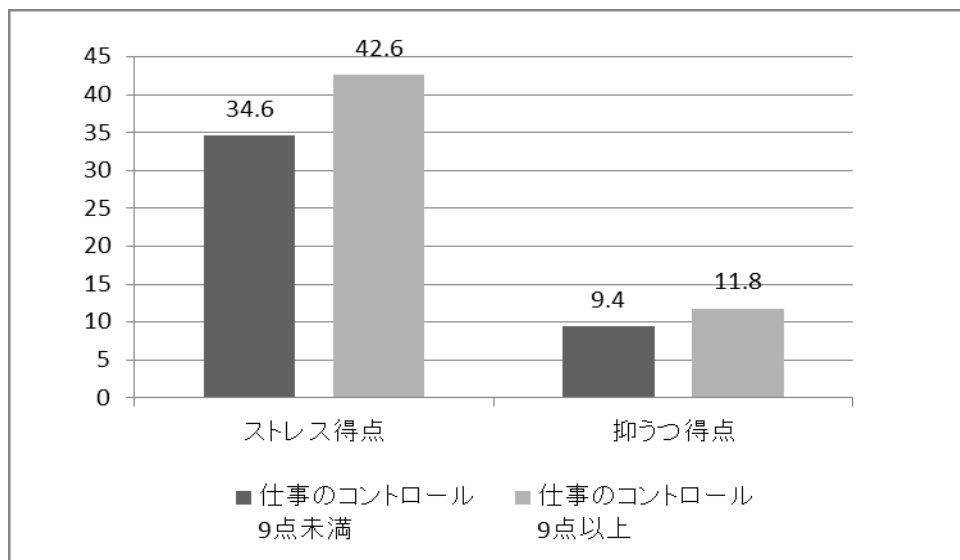


図 2 仕事のコントロールと平均抑うつ得点、平均ストレス得点

ウ 上司・同僚の仕事のサポートとストレス得点、抑うつ得点

上司・同僚の仕事のサポートとストレス得点、抑うつ得点の関係を示したのが図 3 である。

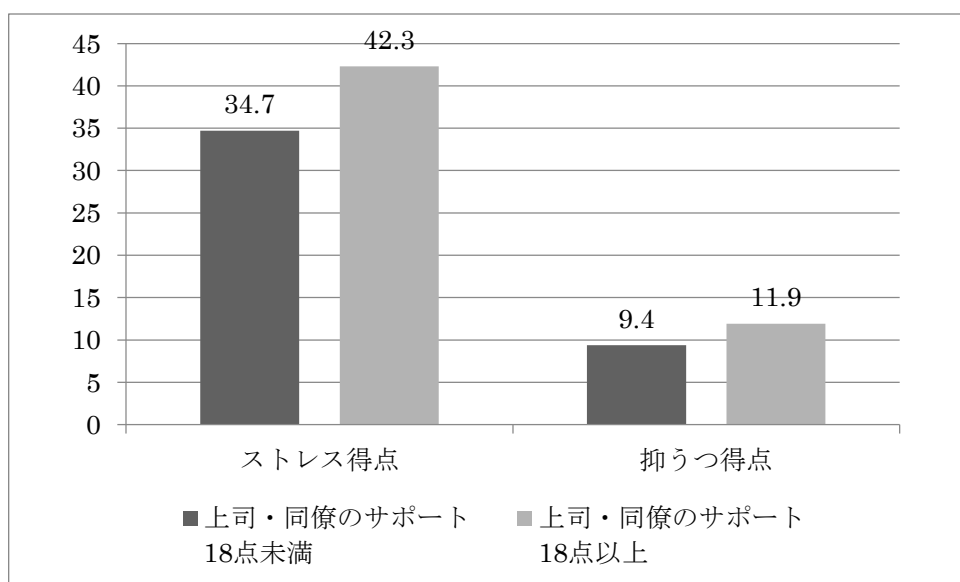


図 3 上司・同僚のサポートと平均抑うつ得点、平均ストレス得点

エ 仕事負担（量）、仕事のコントロール、上司・同僚のサポートとストレスの関係

上記(1),(2),(3)において、仕事の負担（量）、仕事のコントロール、上司・同僚のサポートと平均抑うつ点数及び平均ストレス点数の関係をみたが、仕事の負担（量）、仕事のコントロー

ル、上司・同僚のサポートのストレス大きいグループの平均抑うつ得点及び平均ストレス得点を図4に示した。

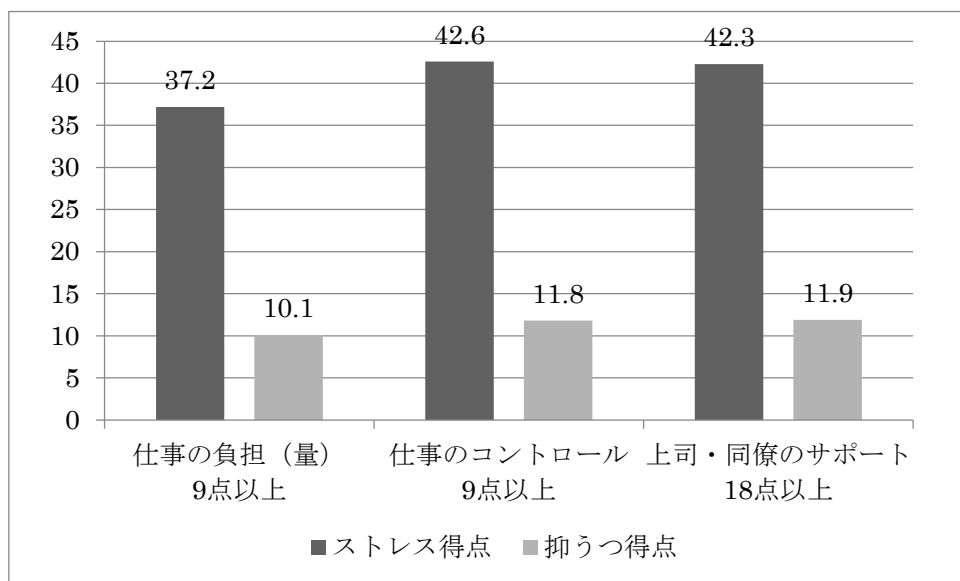


図4 仕事負担（量）、仕事のコントロール、上司・同僚のサポートとストレスの比較

(3) 時間外労働時間とストレス得点、抑うつ得点

ストレスチェックシートの「先月の時間外労働時間（残業）はどれくらいでしたか」（質問58）に対する回答は、「1. 45時間未満」「2. 45～60時間未満」「3. 60～80時間未満」「4. 80～100時間未満」「5. 100時間以上」のいずれかから選択される。

ア 時間外労働時間と高ストレス状態、抑うつ傾向

時間外労働時間と高ストレス状態、抑うつ傾向の関係を現わしたのが表14である。

表14 時間外労働時間別高ストレス状態、抑うつ傾向の割合

時間外労働時間	全 体		高ストレス状態		抑うつ傾向	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
45 時間未満	24,518	71.2%	2,026	8.3%	1,466	6.0%
45～60 時間未満	4,503	13.1%	510	11.3%	332	7.4%
60～80 時間未満	3,031	8.8%	367	12.1%	225	7.4%
80～100 時間未満	1,328	3.9%	183	13.8%	120	9.0%
100 時間以上	855	2.5%	179	20.9%	110	12.9%
空欄	203	0.6%	18	8.9%	12	5.9%
計	34,438	100.0%	3,283	9.5%	2,265	6.6%

*高ストレス状態、抑うつ傾向の割合は、全体に対するものである。

イ 時間外労働とストレス得点、抑うつ得点

時間外労働とストレス得点、抑うつ得点の関係は表15のとおりである。

表 15 時間外労働時間別ストレス得点、抑うつ得点

時間外労働時間	全 体			面接指導対象者		
	人数	ストレス得点	抑うつ得点	人数	ストレス得点	抑うつ得点
45 時間未満	24,518	35.4	9.7	2,421	54.8	17.2
45～60 時間未満	4,503	37.7	10.3	579	55.5	17.1
60～80 時間未満	3,031	38.2	10.3	416	55.2	16.9
80～100 時間未満	1,328	38.8	10.4	199	55.7	17.0
100 時間以上	855	40.3	10.9	194	56.5	17.0
空欄	203	33.6	9.1	20	55.8	17.2
全体	34,438	36.2	9.9	3,829	55.1	17.2

(4) 高ストレス状態、抑うつ傾向と身体愁訴

高ストレス状態の者とそうでない者、抑うつ傾向の者とそうでない者別に身体愁訴（体の反応）に係る項目（表 8 の質問 36～46 の 11 項目）の得点を比較した。

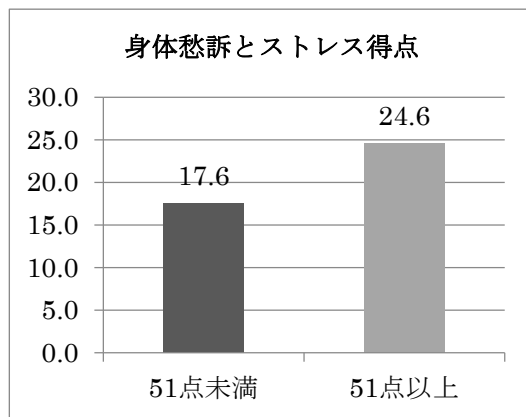


図5 身体愁訴とストレス得点

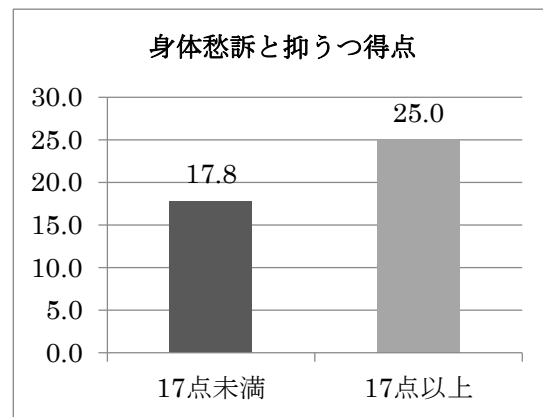


図6 身体愁訴と抑うつ得点

<まとめ>

心理ストレス反応 18 項目及び抑うつ感 6 項目の集計・分析結果は次のとおりである。

- ① 受診者全体 34,438 人（男性 22,217、女性 12,221）の平均ストレス得点は 36.2 点（男性 35.7 点、女性 37.1）、平均抑うつ得点は 9.9 点（男性 9.8、女性 10.0）であった。また、面接指導対象者 3,829 人（男性 2,339、女性 1,490）の平均ストレス得点は 55.1 点（男性 55.0、女性 55.2）、平均抑うつ得点は 17.2 点（男性 17.3、女性 17.0）であり、全体と比べてそれぞれ 18.9 点、7.3 点高かった。
- ② 年代別の平均ストレス得点、平均的抑うつ得点とも 20～29 才、30～39 才、40～49 才が高く、50～59 才、60 才～では低くなっている。また、職位別では、全体では抑うつ得点も、ストレス得点も、管理職の方が一般職より高いが、面接指導対象者においては、管理職と比べて一般職の方が高くなった。
- ③ 仕事の負担（量）とストレスの関係をみると、平均ストレス得点は、仕事の負担（量）が過重

ではない場合（9点未満）は31.3点であるのに対し、9点以上の場合は37.2点と5.9点高かった。同様に、平均抑うつ得点は、9点未満の場合は8.6点であるのに対し、9点以上の場合は10.1点と1.5点高かった。

- ④ 仕事のコントロールとストレスの関係をみると、平均ストレス得点は、仕事のコントロールがある場合（9点未満）は34.6点であるのに対し、9点以上の場合は42.6点と7.7点高かった。同様に、平均抑うつ得点は、9点未満の場合9.4点であるのに対し、9点以上の場合は11.8点と2.4点高かった。
- ⑤ 上司・同僚のサポートとストレスの関係をみると、サポートが良好（18点未満の場合）の平均ストレス得点は、34.7点であるのに対し、18点以上の場合は42.3点と7.6点高かった。同様に、平均抑うつ得点は18点未満の場合9.4点であるのに対し、18点以上の場合は11.9点と2.5点高かった。
- ⑥ 仕事の負担（量）、仕事のコントロール、上司・同僚のサポートの関係では、仕事の負担（量）によるストレスが大きい者より、仕事のコントロールがないこと、上司・同僚のサポートがないことによるストレスが大きい者の方が抑うつ得点及びストレス得点が高く、仕事のコントロールや上司・同僚のサポートが職場のストレスにより大きく影響していることがわかる。
- ⑦ 時間外労働と高ストレス状態、抑うつ傾向と判定された人の割合は、時間外労働時間が長くなるに従って高くなり、高ストレス状態の割合は100時間超では45時間未満の2倍を大きく上回っており、抑うつ傾向でも2倍を超えている。
- ⑧ 時間外労働とストレス得点、抑うつ得点の関係は、全体では時間外労働時間が長くなるにしたがって、平均ストレス点数も平均抑うつ点数も高くなったが、面接指導対象者では労働時間の長さとの関係が認められなかった。
- ⑨ 身体愁訴については、高ストレス状態でない者の身体愁訴項目の合計得点は17.6点であるのに対し、高ストレス状態の者は24.6点と7点高く、同様に、抑うつ傾向でない者の身体愁訴項目の合計得点は17.8点であるのに対し、抑うつ傾向の者は25.0点と7.2点高かった。

4 面接指導結果の概要

前記3の前文に記載したとおり、旧サービスでは、ストレスチェックの結果、①「高ストレス状態」と判定された者、②「抑うつ傾向」と判定された者 ③相談希望者が医師及び保健師による面接指導の対象者とされる。

以下、面接指導対象者の状況を示す。

(1) 面接指導対象者

ア 男女別面接指導対象者

旧サービスの受診者34,438人のうち、面接指導対象者となったのは3,829人であり、比率は11.1%である。これを男女別にみると、男性が10.5%に対し、女性は12.2%であった。

表16 男女別面接指導対象者

男女別	人数	全体数	割合
男性	2,339	22,217	10.5%
女性	1,490	12,221	12.2%

全体	3,829	34,438	11.1%
----	-------	--------	-------

イ 年代別面接指導対象者

面接指導対象者の比率を年代別にみると、40代までは年代が上がるに従って高くなっているが、50台を超えると逆に低くなっている。

表 17 年代別面接指導対象者

年代別	人数	全体数	割合
～19	14	146	9.6%
20～29	536	4,758	11.3%
30～39	840	7,149	11.7%
40～49	1,357	10,814	12.5%
50～59	1,013	10,204	9.9%
60～	69	1,367	5.0%
全体	3,829	34,438	11.1%

ウ 面接指導対象者の選定理由別労働者数

旧サービスの3,829人の面接指導対象者について、選定理由をみると、高ストレス状態の者が3,283人と多く、重複する理由では、高ストレス状態と抑うつ傾向が重複している者が多い（表18、19、図7、8、9）。

表 18 面接指導対象者選定理由別労働者数

単一の理由	人数
相談希望	390
高ストレス状態	3,283
抑うつ傾向	2,265

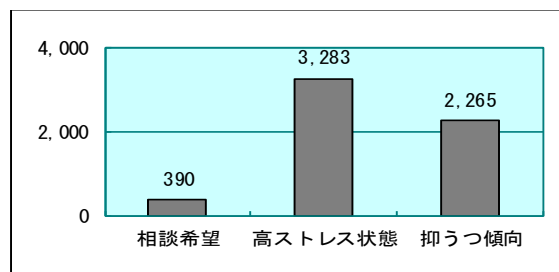


図 7 面接指導対象者選定理由別労働者数

表 19 面接指導対象選定理由（重複）

重複する理由	人数
相談希望+高ストレス状態	163
相談希望+抑うつ傾向	205
高ストレス状態+抑うつ傾向	1,896

相談希望+高ストレス状態+抑うつ傾向	155
--------------------	-----

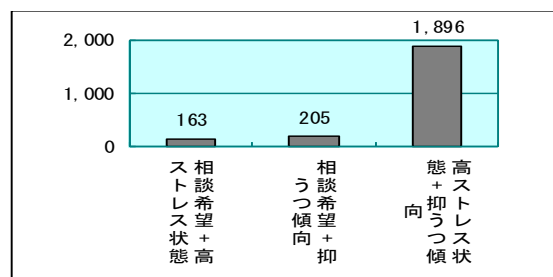


図 8 面接指導対象選定理由（重複）

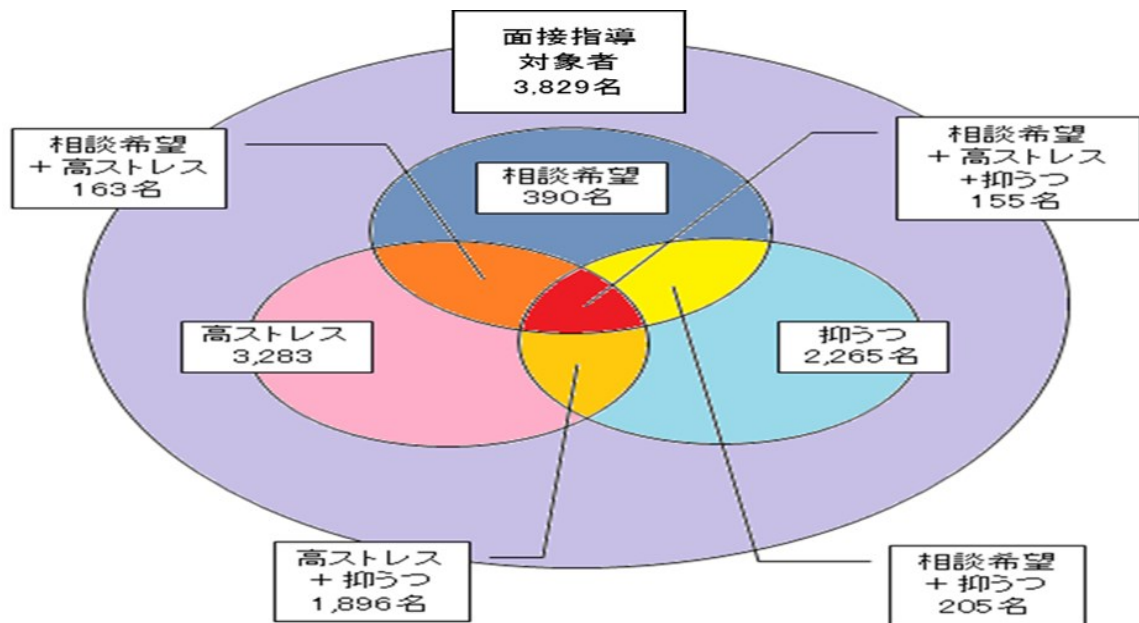


図9 面接指導対象選定理由の相関

2 面接指導実施状況

平成27年度面接指導対象3,829人のうち、実施機関で面接指導を実施したのは、146人で、面接指導対象者に対する実施率は6.5%である。事業場産業医が面接指導した数の情報がないため、全体の面接指導実施率は不明であるが、全衛連メンタルヘルスサービスで対応している範囲での面接指導実施率を年度別に表20に示した。

表20 面接指導等実施状況

年度	受診者数	面接指導対象者	面接指導対象者の割合	事業場産業医担当	実施機関担当	実施機関面接指導実施数	実施機関面接指導実施率	専門医療機関に紹介	医療情報提供書返信あり	通院中
27年度 (旧サービス)	34,438	3,829	11.1%	1,580	2,259	146	6.5%	2	0	0
26年度	60,145	7,231	12.0%	3,806	3,425	291	8.5%	1	0	16
25年度	64,592	7,366	11.4%	3,197	4,169	318	7.6%	8	0	31
24年度	69,765	7,775	11.1%	4,519	3,238	190	5.9%	9	2	6
23年度	35,051	4,369	12.5%	2,937	1,432	153	10.6%	4	1	12
22年度	25,919	2,037	7.9%	1,342	695	140	20.1%	13	0	10

<まとめ>

- ① 旧サービスの受診者34,438人のうち、面接指導対象者となったのは3,829人であり、比率は11.1%である。これを男女別にみると、男性が10.5%に対し、女性は12.2%と1.7%高くなっている。また、面接指導対象者の比率を年代別にみると、40代までは年代が上がるに従って

て高くなっているが、50 台を超えると逆に低くなっている。

- ② 面接指導対象者選定理由をみると、高ストレス状態の者が 3,283 人と多く、重複する理由では、高ストレス状態と抑うつ傾向が重複している者が多い（表 18、19、図 7、8、9）。

5 職場評価結果の概要

前記第 1 の 1 の(3)に記したように、全衛連サービスでは、職場評価として、全国平均を 100 としたときに、仕事のストレスによる健康問題のリスクがどの程度増加するかを示す資料として「仕事のストレス判定図」及び職場ストレス環境改善のヒントとなる分析資料を提供している（これまでの調査では、健康リスクが 120 を超える場合には、すでに何らかのストレス問題が職場で発生している場合が多いことが分かっている）。

旧サービス利用事業場について業種別に、当該事業場の受診者の職種別、職位別に、仕事の負担、職場の支援、総合評価の健康リスクを表 21～23 に示す（各表の平成 27 年度において 100 を超えている部分に網掛けしている。）。

(1) 業種別健康リスク

総合評価で健康リスクが 120 を超えている業種はなく、100 を超えているのは、農林、情報通信の 2 業種であった。

また、仕事の負担、職場の支援の健康リスクでも 120 を超えている業種はなく、100 を超えているのは、仕事の負担では、農林、教育・学習支援の 2 業種、職場の支援では、農林、製造、情報通信、運輸・郵便、卸・小売り、学術研究の 6 業種であった（表 21）。

表 21 業種別健康リスク

業種	事業場数	健康リスク		
		仕事の負担	職場の支援	総合評価
全国平均	—	100	100	100
農林業	—	110	103	113
漁業	—	—	—	—
鉱業	—	—	—	—
建設業	1	—	—	—
製造業	44	98	103	100
電気・ガス・水道	1	64	76	48
情報通信業	2	95	108	102
運輸業、郵便業	1	86	101	86
卸業・小売業	3	94	101	94
金融業・保険業	7	—	—	—
不動産業	—	—	—	—
学術研究	3	92	103	94
宿泊・飲食	1	—	—	—
接客・娯楽業	0	—	—	—

教育・学習支援業	3	102	93	94
医療・福祉	7	99	96	95
複合サービス	7	96	99	95
その他サービス	2	—	—	—
公務	34	95	93	88
その他	17	93	91	84
全体	139	94	97	91

(2) 職位別健康リスク

健康リスクが 100 を超えているのは、職場の支援の管理職だけである。全般に管理職が若干高い傾向が認められるが、仕事の負担は、一般職の方が高い（表 22）。

表 22 職位別健康リスク

役職	受診者数	健康リスク		
		仕事の負担	職場の支援	総合評価
全国平均		100	100	100
管理職	1,667	96	102	97
一般職	32,771	98	96	94
全体	34,438	97	99	96

(3) 職種別健康リスク

総合評価では、健康リスクが 120 を超えている業種はなく、100 を超えているのは、技能職である。

また、仕事の負担、職場の支援の健康リスクでも 120 を超えている職種はなく、100 を超えているのは、仕事の負担では、販売、技能の 2 職種、職場の支援では、事務、技能の 2 職種であった。技能職は、すべて 100 を超えており、職場の支援では 111 点、総合評価では 114 点と他の職種よりストレスが大きいことが伺える（表 23）。

表 23 職種別健康リスク

業種	受診者数	健康リスク		
		仕事の負担	職場の支援	総合評価
全国平均	—	100	100	100
専門・技術職	13,730	101	93	93
管理職業	2,816	100	90	90
事務職	1,557	98	102	99
販売職	395	103	98	100
サービス職	0	—	—	—
運輸・通信	0	—	—	—

技能職	625	103	111	114
その他	15,315	95	99	94
全体	34,438	100	99	98

<まとめ>

- ① 業種別健康リスクにおいて、総合評価で健康リスクが 120 を超えている業種はなく、100 を超えているのは、農林、情報通信の 2 業種である（表 21）。
- ② 職位別の健診リスクにおいて、健康リスクが 100 を超えているのは職場の支援の管理職だけである。（表 22）。
- ③ 職種別で健康リスクにおいて、健康リスクが 120 を超えている職種はなく、100 を超えているのは、技能職だけである（表 23）。

第3 平成27年度実施結果（新サービス）

1 ストレスチェック受診者の属性等

平成27年度全衛連ストレスチェックサービス（新サービス）を利用してストレスチェックを受けたのは108,537人である。このうち、研究目的のための利用について同意を得た55,450人のデータについて集計・分析した。

男女別、年代別、業種別、職種別、職位別、雇用形態別内訳は表1～6のとおりである。

表1 男女別受診者数

	人数	割合
男性	31,553	56.9%
女性	23,897	43.1%
計	55,450	100%

表2 年代別受診者数

	人数	割合
10代	446	0.8%
20代	9,759	17.6%
30代	12,125	21.9%
40代	14,656	26.4%
50代	12,830	23.1%
60代以上	5,634	10.2%
計	55,450	100.0%

表3 業種別受診者数

業種	人数	割合
農業、林業	596	1.1%
漁業	5	0.0%
建設業	265	0.5%
製造業	15,896	28.7%
電気・ガス・熱供給・水道業	174	0.3%
情報通信業	83	0.1%
運輸業、郵便業	1,643	3.0%
卸業、小売業	7,368	13.3%
金融業、保険業	4,481	8.1%
不動産業、物品賃貸業	137	0.2%
学術研究、専門・技術サービス業	256	0.5%
宿泊業、飲食業	1,187	2.1%
生活関連サービス業、娯楽業	861	1.6%
教育、学習支援業	81	0.1%
医療、福祉	7,485	13.5%
複合サービス事業	2,524	4.6%
サービス業(他に分類されないもの)	1,448	2.6%
公務(他に分類されるものを除く)	7,274	13.1%
その他	3,686	6.6%
計	55,450	100%
食料品製造業	1,981	3.6%
飲料・たばこ・飼料製造業	56	0.1%
繊維工業	203	0.4%
木材・木製品製造業(家具を除く)	225	0.4%
家具・装備品製造業	205	0.4%
パルプ・紙・紙加工品製造業	182	0.3%
印刷・同関連業	178	0.3%
化学工業	601	1.1%
プラスチック製品製造業	1,309	2.4%
ゴム製品製造業	97	0.2%
窯業・土石製品製造業	357	0.6%
鉄鋼業	188	0.3%
非鉄金属製造業	298	0.5%
金属製品製造業	1,692	3.1%
はん用機械器具製造業	110	0.2%
生産用機械器具製造業	215	0.4%
業務用機械器具製造業	378	0.7%
電子部品・デバイス・電子回路製造業	1,353	2.4%
電気機械器具製造業	1,597	2.9%
輸送用機械器具製造業	1,516	2.7%
その他の製造業	3,155	5.7%
計(製造業)	15,896	28.7%

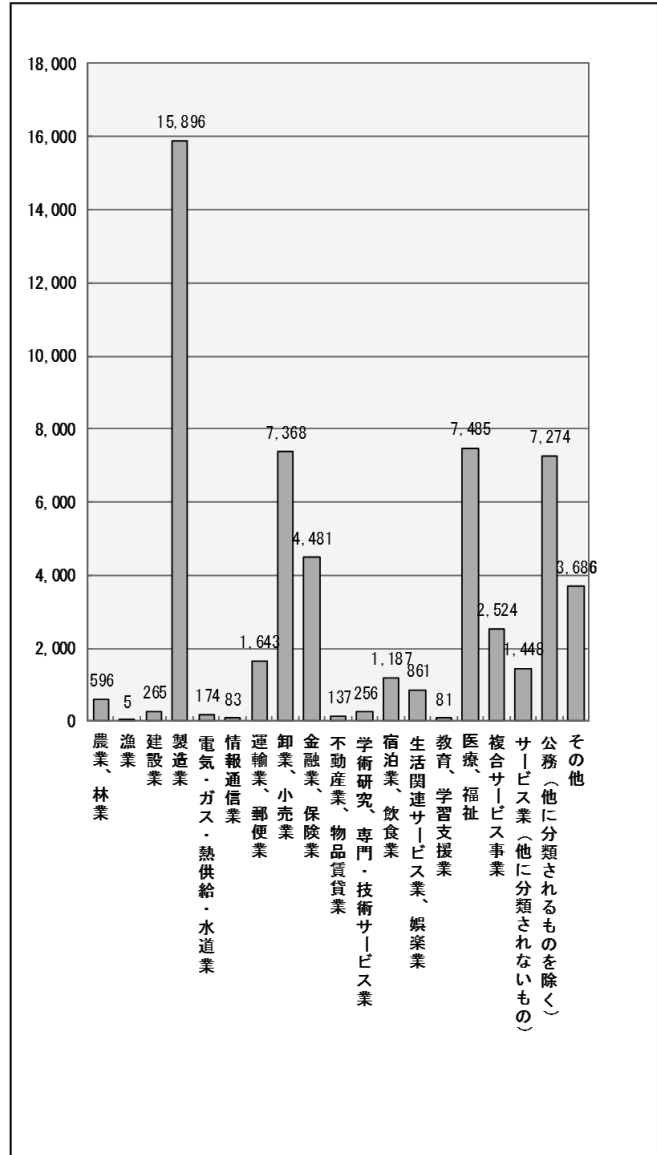


表4 職種別受診者数

職種	人数	割合
専門・技術職	1,501	2.7%
事務職	4,691	8.5%
営業職	330	0.6%
販売職	279	0.5%
サービス職	1,286	2.3%
運輸・通信職	188	0.3%
技能職	1,742	3.1%
その他	9,234	16.7%
未選択	36,199	65.3%
計	55,450	100%

表5 雇用形態別受診者数

雇用形態	人数	割合
正規社員	11,136	20.1%
出向社員	24	0.0%
派遣社員	56	0.1%
パート社員	1,266	2.3%
その他	8,953	16.1%
未選択	34,015	61.3%
計	55,450	100%

表6 職位別受診者数

職位	人数	割合
管理職(課長以上)	1,054	1.9%
その他(一般職含む)	19,917	35.9%
未選択	34,479	62.2%
計	55,450	100%

<まとめ>

平成 27 年度（新サービス）のストレスチェック受診者の属性は次のとおりである。

- ① 男女別では、男性 56.9%、女性 43.1%で、年代別では 40 代（26.4%）、50 代（23.1%）、30 代（21.9%）の順であった。
- ② 業種別では、製造業（28.7%）、医療・福祉（13.5%）、卸小売（13.3%）、公務（13.1%）の順となった。旧サービスにおいては改正労働安全衛生法施行前のサービスであり、メンタルヘルスに先進的に取り組んでいる業種での利用が多かったが、新サービスは改正法下のサービスであることから利用層の幅が広がっている。
- ③ 職位別では、管理職が 1.9%、一般職が 35.9%であった。一方で未回答は全体の 62.2%に上った。職種別では事務職 8.5%、技能職 3.1%、専門技術職 2.7%、サービス職 2.3%などであったが、未回答 65.3%、その他 16.7%であった。同様に雇用形態別では、正社員との回答が 20.1%であったが、未回答 61.3%、その他 16.16%であった。
- ④ 職位別、職種別、雇用形態別の未回答がいずれも 60%台となり、これらの項目とストレスチェック結果との関係については分析に適さない状況となった。受診者の属性情報は、事業場担当者から提供を受けている。事業場に対しては、職場環境改善の一助とするため、これら受診者情報の提供について協力を求めているが、今回は、その協力が十分に得られなかった。今後、ストレスチェック制度の意義等について十分に説明し、事業場の理解を得る必要がある。

なお、職位の選択肢は管理職、一般職の 2 択でありそれほど困難な選択とは思えないが、職種については日本標準職種分類を参考に、雇用形態については労働契約法制を参考に選択肢を提供しているが、各々の選択肢の解説等事業場が理解しやすい資料の提供も考慮しなければならぬと考える。

2 ストレスチェックシート各項目への回答状況

新サービスにおいても、旧サービスと同様、チェックシートの 57 の項目に 2 つの質問（1. 相談希望の有無、2. 先月の時間外・休日労働時間数）を加えた 59 項目について、「そうだ」、「まあそうだ」、「ややちがう」、「ちがう」などの 4 段階の回答を求めている。

新サービスにおけるストレスチェック受診者 55,450 人のチェックシート各質問に対する回答状況を表 7 に示した（質問内容はチェックシートの質問を簡略化して表記している）。

なお、過半数がストレス度が高いと回答した項目に網掛けした。

表7 項目別回答の分布

	設問No	1 (そうだ)		2 (まあそうだ)		3 (ややちがう)		4 (ちがう)		未記入	
仕事の負担 裁量度	1 たくさん仕事だ	8,097	14.6%	26,914	48.5%	14,211	25.6%	6,079	11.0%	149	0.3%
	2 時間内に処理しきれない	7,163	12.9%	17,277	31.2%	18,490	33.3%	12,414	22.4%	106	0.2%
	3 一生懸命働くことが必要	19,110	34.5%	28,482	51.4%	5,803	10.5%	1,951	3.5%	104	0.2%
	4 注意集中が必要	16,042	28.9%	28,188	50.8%	9,293	16.8%	1,832	3.3%	95	0.2%
	5 高度の知識・技術が必要	6,972	12.6%	21,600	39.0%	19,235	34.7%	7,532	13.6%	111	0.2%
	6 いつも仕事を考えている	10,699	19.3%	26,118	47.1%	15,095	27.2%	3,429	6.2%	109	0.2%
	7 体を使う仕事だ	8,973	16.2%	14,838	26.8%	18,020	32.5%	13,553	24.4%	66	0.1%
	8 マイペースで仕事可	5,050	9.1%	21,540	38.8%	20,135	36.3%	8,626	15.6%	99	0.2%
	9 自分で段取り可	7,960	14.4%	26,566	47.9%	14,939	26.9%	5,910	10.7%	75	0.1%
	10 自分の意見を反映可	3,341	6.0%	24,945	45.0%	19,687	35.5%	7,333	13.2%	144	0.3%
	11 知識・技能を活かせない	2,805	5.1%	11,953	21.6%	29,081	52.4%	11,478	20.7%	133	0.2%
	12 部署内で意見の対立有り	3,871	7.0%	14,818	26.7%	25,552	46.1%	11,084	20.0%	125	0.2%
	13 他部署との軋轢有り	2,004	3.6%	8,072	14.6%	26,244	47.3%	18,939	34.2%	191	0.3%
	14 友好的な職場だ	12,458	22.5%	30,176	54.4%	9,564	17.2%	3,113	5.6%	139	0.3%
	15 劣悪な作業環境だ	6,309	11.4%	12,174	22.0%	21,525	38.8%	15,314	27.6%	128	0.2%
	16 自分に合った仕事だ	8,749	15.8%	31,197	56.3%	12,101	21.8%	3,233	5.8%	170	0.3%
	17 働きがいのある仕事だ	10,441	18.8%	28,691	51.7%	12,173	22.0%	3,772	6.8%	373	0.7%
	設問No	1 (なかった)		2 (時々)		3 (しばしば)		4 (あった)		未記入	
抑うつ	18 活気がわく	12,169	21.9%	26,112	47.1%	13,732	24.8%	3,300	6.0%	137	0.2%
	19 元気がいっぱい	10,592	19.1%	24,748	44.6%	15,150	27.3%	4,843	8.7%	117	0.2%
	20 生き生きする	13,121	23.7%	25,080	45.2%	13,501	24.3%	3,551	6.4%	197	0.4%
	21 怒りを感じる	13,473	24.3%	24,509	44.2%	14,272	25.7%	3,078	5.6%	118	0.2%
	22 内心腹立たしい	15,221	27.4%	23,544	42.5%	12,917	23.3%	3,648	6.6%	120	0.2%
	23 イライラしている	13,781	24.9%	25,059	45.2%	12,671	22.9%	3,816	6.9%	123	0.2%
	24 ひどく疲れた	9,008	16.2%	23,671	42.7%	16,212	29.2%	6,452	11.6%	107	0.2%
	25 へとへとだ	20,680	37.3%	19,946	36.0%	10,485	18.9%	4,226	7.6%	113	0.2%
	26 だるい	15,015	27.1%	23,271	42.0%	11,963	21.6%	5,074	9.2%	127	0.2%
	27 気が張り詰めている	12,657	22.8%	22,503	40.6%	14,222	25.6%	5,935	10.7%	133	0.2%
	28 不安だ	18,091	32.6%	20,797	37.5%	10,981	19.8%	5,457	9.8%	124	0.2%
	29 落ち着かない	27,525	49.6%	18,686	33.7%	6,807	12.3%	2,307	4.2%	125	0.2%
	30 ゆううつだ	22,648	40.8%	20,075	36.2%	8,627	15.6%	3,978	7.2%	122	0.2%
	31 何をしても面倒だ	24,089	43.4%	21,611	39.0%	7,093	12.8%	2,534	4.6%	123	0.2%
	32 物事に集中できない	26,533	47.9%	22,660	40.9%	5,056	9.1%	1,087	2.0%	114	0.2%
	33 気分が晴れない	19,515	35.2%	23,895	43.1%	8,368	15.1%	3,545	6.4%	127	0.2%
	34 仕事が手につかない	39,264	70.8%	12,996	23.4%	2,384	4.3%	696	1.3%	110	0.2%
身体愁訴	35 悲しいと感じる	35,379	63.8%	13,827	24.9%	4,435	8.0%	1,694	3.1%	115	0.2%
	36 めまいがする	42,173	76.1%	10,412	18.8%	2,301	4.1%	450	0.8%	114	0.2%
	37 ふしぶしが痛む	35,177	63.4%	14,162	25.5%	4,242	7.7%	1,734	3.1%	135	0.2%
	38 頭重・頭痛がする	27,279	49.2%	18,974	34.2%	7,346	13.2%	1,706	3.1%	145	0.3%
	39 首筋や肩がこる	13,294	24.0%	18,004	32.5%	12,877	23.2%	11,170	20.1%	105	0.2%
	40 腰が重い	19,023	34.3%	19,229	34.7%	10,663	19.2%	6,440	11.6%	95	0.2%
	41 目が疲れる	10,840	19.5%	19,652	35.4%	15,580	28.1%	9,275	16.7%	103	0.2%
	42 動悸・息切れがする	42,436	76.5%	9,798	17.7%	2,516	4.5%	583	1.1%	117	0.2%
	43 胃腸の具合が悪い	31,718	57.2%	16,539	29.8%	5,240	9.4%	1,853	3.3%	100	0.2%
	44 食欲がない	42,942	77.4%	10,139	18.3%	1,655	3.0%	595	1.1%	119	0.2%
	45 便秘・下痢	28,677	51.7%	16,858	30.4%	6,631	12.0%	3,183	5.7%	101	0.2%
	46 よく眠れない	30,460	54.9%	16,774	30.3%	5,691	10.3%	2,411	4.3%	114	0.2%
	設問No	1 (非常に)		2 (かなり)		3 (多少)		4 (全くない)		未記入	
サポート	47 上司と気軽に会話可	6,287	11.3%	17,035	30.7%	27,151	49.0%	4,845	8.7%	132	0.2%
	48 同僚と気軽に会話可	12,695	22.9%	25,064	45.2%	16,394	29.6%	1,153	2.1%	144	0.3%
	49 配偶者等と気軽に会話可	28,197	50.9%	19,355	34.9%	6,979	12.6%	734	1.3%	185	0.3%
	50 頼りになる上司だ	8,574	15.5%	18,646	33.6%	22,376	40.4%	5,668	10.2%	186	0.3%
	51 頼りになる同僚だ	8,356	15.1%	21,911	39.5%	21,867	39.4%	3,149	5.7%	167	0.3%
	52 頼りになる配偶者等だ	22,514	40.6%	21,060	38.0%	10,427	18.8%	1,286	2.3%	163	0.3%
	53 相談できる上司だ	5,918	10.7%	16,161	29.1%	24,976	45.0%	8,078	14.6%	317	0.6%
	54 相談できる同僚だ	6,701	12.1%	19,287	34.8%	24,509	44.2%	4,685	8.4%	268	0.5%
	55 相談できる家族等だ	25,230	45.5%	20,443	36.9%	8,446	15.2%	1,155	2.1%	176	0.3%
	設問No	1 (満足)		2 (まあまあ満足)		3 (やや不安)		4 (不満足)		未記入	
	56 仕事に満足だ	6,277	11.3%	28,734	51.8%	15,018	27.1%	5,341	9.6%	80	0.1%
	57 家庭生活に満足だ	16,580	29.9%	28,994	52.3%	7,829	14.1%	1,952	3.5%	95	0.2%

<まとめ>

- ① 仕事の負担（量・質）に係る質問（質問1～6）について肯定的な回答（以下記載する内容を肯定する側の二つの回答の合計をいう。）は、「非常にたくさんの仕事をしなければならない」63.1%、「時間内処理しきれない」44.1%、「一生懸命働かなければならない」85.9%、「かなり注意を集中する必要がある」79.7%、「高度の知識や技術が必要な難しい仕事だ」51.6%、「いつも仕事のことを考えていなければならない」66.4%であった。
一方で、「自分の知識技能が活かせる（質問11）」73.1%、「仕事の内容は自分に合っている（質問16）」72.1%、「働きがいのある仕事だ（質問17）」70.5%、「仕事に満足だ（質問56）」63.1%の回答を得ている。
- ② 仕事のコントロールに係る質問（質問8～10）についての肯定的な回答は、「自分のペースで仕事ができる」47.9%、「自分で仕事の順番・やり方を決めることができる」62.3%、「仕事の方針に自分の意見を反映できる」51.0%であった。コントロールの有無については相半ばする結果となった。
- ③ 上司・同僚のサポートに係る質問（質問47、48、50、51、53、54）について肯定的な回答は、「上司と気軽に会話できる」42.0%、「同僚と気軽に会話できる」68.1%、「困ったとき上司は頼りになる」49.1%、「困ったとき同僚は頼りになる」54.6%、「個人的問題を上司に相談できる」39.8%、「個人的問題を同僚に相談できる」46.9%であった。
- ④ 心理反応に係る質問（問18～35）に対する肯定的な回答では、「活気がない（質問18～20）」69.0～63.7%、「イライラ感がある（質問21～23）」31.3～29.8%、「疲労感がある（質問24～26）」40.8～26.5%、「不安感がある（質問27～29）」36.3～16.5%、「抑うつ感がある（質問30～35）」22.8～5.6%であった。
- ⑤ 身体反応に係る質問（問36～46）に対する肯定的な回答では、「めまい・ふしぶしの痛み、頭重がある（質問36～38）」16.3～4.9%、「肩こり、腰の痛み、目の疲れがある（質問39～41）」44.8～30.9%、「食欲不振がある（質問44）」4.1%、「不眠がある（質問46）」14.6%との結果であった。
- ⑥ 以上、全体としては、仕事が忙しく、余裕はあまりないが、現在の仕事に一定満足している職場像ではあるが、ストレスチェックの直近において、活気のない人が6割から7割に、肩こり、腰の痛み、目の疲れ等の症状がみられる人が3割から4割にのぼり、心理反応においても一部抑うつ傾向の認められる人がいることを考え合わせると、職場ストレス対策を講じる必要があると考える。

3 ストレスチェック結果の分析

(1) 全体及び高ストレス者のストレス得点

受診者全体と高ストレス者の要素ごとの平均ストレス得点を表8に示す。

表は、高ストレス者の選定のため厚生労働省が示した判定基準の考え方に従い、「心とからだに現れた反応」に係る29項目を「A分野」、「仕事のストレス要因」に係る17項目を「B分野」、「サポートの状況」に係る9項目を「C分野」として整理した。

高ストレス者はA分野において5割増しのストレス得点を獲得しており、B分野、C分野の2割増しと比べて際立っている。高ストレス者を選定するための判定基準①はA分野を中心に、判定基準②を補完する目的で設定された判定基準②がB分野、C分野から拾い上げている構図が明確になった。

表8 高ストレス者の比率と平均ストレス点数

高ストレス者の 様態	件数	比率	平 均 ス ト レ ス 点 数							
			A分野 (心とからだに現れた反応)				B分野 (仕事の 要因)	C分野 (サ ポート)	B分野 + C分野	合計
			心とからだに 現れた反応29 項目	うち心 理的な反 応18項目	うち抑 うつ6 項目	うち身 体愁訴 11項目	仕事の ストレス 要因 17項目	サポー ト9項目	仕事の ストレス 要因17 項目+サ ポート9 項目	57 項目
最大点数			116	72	24	44	68	36	104	228
受診者全体 (集計対象) (Ⅰ)	55,450	100.0%	56.2	37.3	10.1	18.9	41.2	19.7	60.9	121.4
高ストレス者 (新判定基準 該当者) (Ⅱ)	6,366	11.5%	82.2	55.4	16.4	26.8	49.6	23.8	73.3	161.1
(Ⅱ)－(Ⅰ)	－	－	26.0	18.1	6.3	7.9	8.4	4.1	12.4	39.7
偏差(%)	－	－	46.3%	48.5%	62.3%	41.8%	20.4%	20.8%	20.4%	32.7%
A分野 77点以上の者	5,092	9.2%	85.3	57.2	17.2	28.1	48.8	23.1	71.8	162.6
A分野 66点以上 かつB分野 +C分野76点 以上の者	3,094	5.6%	80.6	55.1	16.0	25.5	54.1	26.7	80.8	167.4

凡例 A分野：心とからだに現れた反応
B分野：仕事のストレス要因
C分野：サポートの状況

判定基準①：A分野77点以上
判定基準②：A分野66点以上
かつB分野+C分野76点以上

(2) 男女別、年代別、業種別ストレス得点

ア 男女別の平均ストレス得点

男女別の平均ストレス得点は表 9 のとおりである。

表 9 性別と平均ストレス点数

	件数	比率	A 分野				B 分野	C 分野	B 分野 + C 分野	合計
			心とからだに現れた反応29項目	うち心理的反応18項目	うち抑うつ6項目	うち身体愁訴11項目				
全体平均	55,450	100.0%	56.2	37.3	10.1	18.9	41.2	19.7	60.9	121.4
性別										
男性	31,553	56.9%	55.7	37.3	10.1	18.4	41.3	19.9	61.1	121.1
女性	23,897	43.1%	57.0	37.4	10.0	19.5	41.0	19.6	60.6	121.8

イ 年代別ストレス得点

年代別の平均ストレス得点は表 10 のとおりである。年代別の平均ストレス得点をみると、20 代では心とからだに現れた反応のストレス得点が他の年代と比べてやや高く、30 代、40 代では、仕事のストレス要因のストレス得点がやや高い。

また、身体愁訴のストレス得点は 40 代がやや高く、サポートの状況では 50 代がやや高くなっている。

表 10 年代と平均ストレス点数

	件数	比率	A 分野				B 分野	C 分野	B 分野 + C 分野	合計
			心とからだに現れた反応29項目	うち心理的反応18項目	うち抑うつ6項目	うち身体愁訴11項目				
全体平均	55,450	100.0%	56.2	37.3	10.1	18.9	41.2	19.7	60.9	121.4
年代別労働者										
10代	446	0.8%	54.9	36.9	10.4	18.0	40.4	18.1	58.4	117.3
20代	9,759	17.6%	58.1	39.0	10.8	19.0	41.5	18.9	60.4	122.7
30代	12,125	21.9%	57.7	38.7	10.4	19.1	41.8	19.5	61.3	123.4
40代	14,656	26.4%	57.2	38.0	10.2	19.2	41.8	20.0	61.9	123.4
50代	12,830	23.1%	55.4	36.4	9.8	19.0	41.0	20.4	61.4	121.0
60代以上	5,634	10.2%	49.3	31.9	8.5	17.4	37.9	19.7	57.6	110.7

ウ 業種別ストレス得点

業種別平均ストレス得点は表 11 のとおりである。

表 11 業種と平均ストレス点数

	件数	比率	A分野				B分野	C分野	B分野 + C分野	合計
			心とからだに現れた反応29項目	うち心理的反応18項目	うち抑うつ6項目	うち身体愁訴11項目	仕事のストレス要因17項目	サポート項目9項目の点数(36点)	仕事のストレス因17項目+サポート9項目	57項目
全体平均	55,450	100.0%	56.2	37.3	10.1	18.9	41.2	19.7	60.9	121.4
業種別労働者										
農業、林業	596	1.1%	57.3	38.2	10.7	19.1	40.8	19.5	60.3	122.1
漁業	5	0.0%	51.4	31.6	8.0	19.8	37.0	21.4	58.4	114.0
建設業	265	0.5%	55.1	36.8	10.1	18.3	39.8	19.7	59.5	118.8
製造業	15,896	28.7%	57.4	38.2	10.4	19.1	41.8	20.4	62.2	124.0
電気・ガス・熱供給・水道業	174	0.3%	56.9	38.1	10.4	18.8	40.6	20.2	60.7	121.9
情報通信業	83	0.1%	57.5	37.6	10.7	19.9	39.3	20.1	59.4	121.3
運輸業、郵便業	1,643	3.0%	54.9	36.2	9.7	18.7	39.7	20.3	60.1	119.2
卸業、小売業	7,368	13.3%	55.2	36.5	9.8	18.8	40.2	19.8	60.1	119.6
金融業、保険業	4,481	8.1%	55.5	36.9	9.7	18.6	40.6	18.3	58.9	118.4
不動産業、物品賃貸業	137	0.2%	55.7	37.4	10.0	18.4	40.4	19.7	60.1	119.9
学術研究、専門・技術サービス業	256	0.5%	55.0	36.3	9.9	18.7	39.6	20.2	59.9	119.1
宿泊業、飲食業	1,187	2.1%	57.4	38.1	10.2	19.3	41.3	19.8	61.1	122.8
生活関連サービス業、娯楽業	861	1.6%	56.6	37.5	10.5	19.2	40.9	20.0	60.8	121.7
教育、学習支援業	81	0.1%	56.0	36.9	10.1	19.1	40.2	17.7	57.9	117.7
医療、福祉	7,485	13.5%	56.3	37.3	9.9	19.0	42.1	19.4	61.5	122.0
複合サービス事業	2,524	4.6%	55.8	37.3	10.4	18.5	40.4	20.1	60.5	120.7
サービス業	1,448	2.6%	54.2	35.9	9.7	18.3	40.5	20.0	60.5	118.9
公務	7,274	13.1%	55.3	36.8	10.0	18.5	40.8	19.0	59.8	119.2
その他	3,686	6.6%	57.0	37.8	10.4	19.2	41.5	20.2	61.7	123.0

エ 男女別、年代別、業種別の高ストレス者の状況

(ア) 男女別高ストレス者数及び比率

男女別高ストレス者数及び比率は表 12 のとおりである。

表 1 2 男女別高ストレス者数の比率

性別	人数	全体	割合
男性	3,523	31,553	11.2%
女性	2,843	23,897	11.9%
全体	6,366	55,450	11.5%

(イ) 年代別高ストレス者数及び比率

年代別高ストレス者数及び比率は表 13 のとおりである。年代別高ストレス者の割合をみると、20 代、30 代、40 代が全体平均より高く、50 代、60 代では低くなっている。

表 1 3 年代別高ストレス者数及び比率

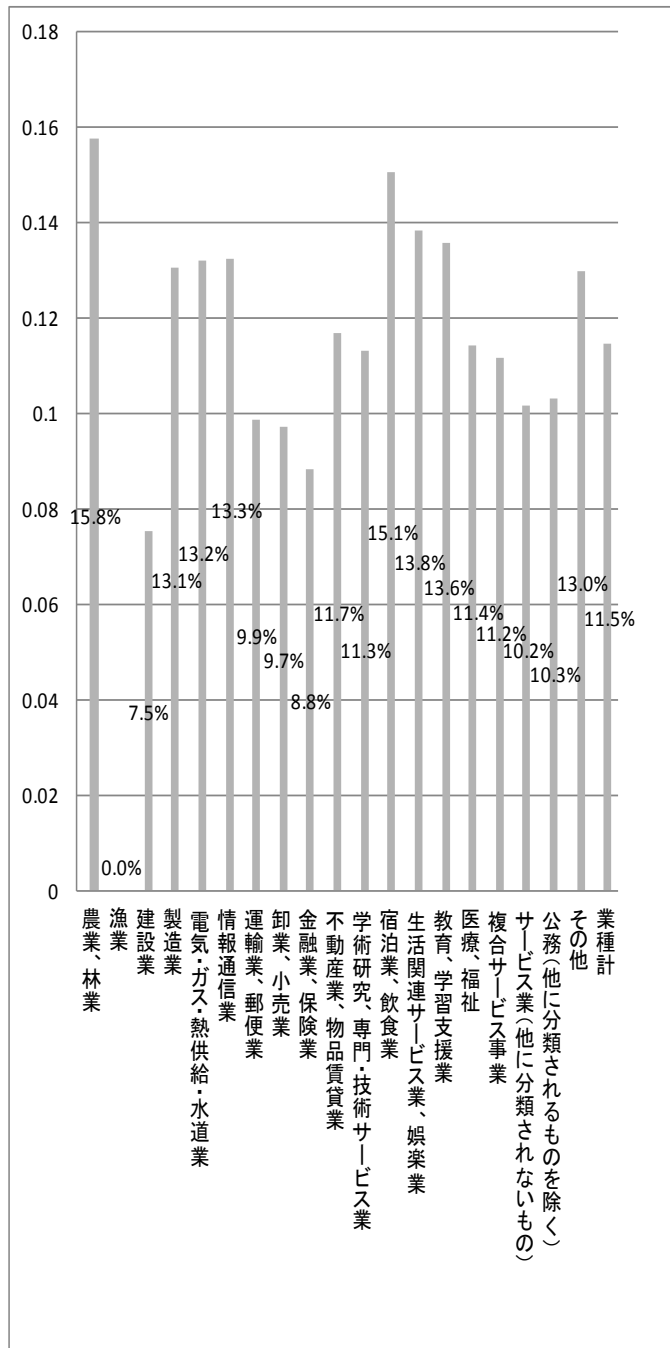
年代	人数	全体	割合
10 代	45	446	10.1%
20 代	1,339	9,759	13.7%
30 代	1,528	12,125	12.6%
40 代	1,918	14,656	13.1%
50 代	1,262	12,830	9.8%
60 代以上	274	5,634	4.9%
全体	6,366	55,450	11.5%

(ウ) 業種別高ストレス者の状況

業種別高ストレス者数及び比率は表 14 及び図のとおりである。高ストレス者の比率で平均(11.5%)を上回っているのは9業種であるが、一番比率が高いのは農業・林業であり、宿泊・飲食業、生活関連サービス業・娯楽業と続いている。これらの傾向については、母数が小さいため、個別事業場の結果が大きく影響を及ぼしていることが考えられる。

表14 業種別高ストレス者数及び比率

業種	人数	全体	割合
農業、林業	94	596	15.8%
漁業	0	5	0.0%
建設業	20	265	7.5%
製造業	2,077	15,896	13.1%
電気・ガス・熱供給・水道業	23	174	13.2%
情報通信業	11	83	13.3%
運輸業、郵便業	162	1,643	9.9%
卸業、小売業	717	7,368	9.7%
金融業、保険業	395	4,481	8.8%
不動産業、物品賃貸業	16	137	11.7%
学術研究、専門・技術サービス業	29	256	11.3%
宿泊業、飲食業	179	1,187	15.1%
生活関連サービス業、娯楽業	119	861	13.8%
教育、学習支援業	11	81	13.6%
医療、福祉	855	7,485	11.4%
複合サービス事業	282	2,524	11.2%
サービス業(他に分類されないもの)	147	1,448	10.2%
公務(他に分類されるものを除く)	751	7,274	10.3%
その他	478	3,686	13.0%
業種計	6,366	55,450	11.5%
食料品製造業	264	1,981	13.3%
飲料・たばこ・飼料製造業	8	56	14.3%
繊維工業	15	203	7.4%
木材・木製品製造業(家具を除く)	30	225	13.3%
家具・装備品製造業	23	205	11.2%
パルプ・紙・紙加工品製造業	29	182	15.9%
印刷・同関連業	19	178	10.7%
化学工業	63	601	10.5%
プラスチック製品製造業	226	1,309	17.3%
ゴム製品製造業	10	97	10.3%
窯業・土石製品製造業	41	357	11.5%
鉄鋼業	18	188	9.6%
非鉄金属製造業	18	298	6.0%
金属製品製造業	218	1,692	12.9%
はん用機械器具製造業	12	110	10.9%
生産用機械器具製造業	29	215	13.5%
業務用機械器具製造業	31	378	8.2%
電子部品・デバイス・電子回路製造業	172	1,353	12.7%
電気機械器具製造業	232	1,597	14.5%
輸送用機械器具製造業	233	1,516	15.4%
その他の製造業	386	3,155	12.2%
製造業計	2,077	15,896	13.1%



(3) 仕事量、コントロール、サポートの状況とストレス得点

仕事負担（量）、仕事のコントロール、上司・同僚のサポートの3つの要素が、労働者の仕事のストレスに大きく影響しているが、これらの要素とストレス得点との関連をみる。

ア 仕事の負担（量）と平均ストレス得点

仕事の負担（量）に関する質問は、表7の質問1～3である。この合計点（最大12点）が9点以上の場合（各問の平均が3点以上、すなわち概して「まあそうだ」より以上に回答した場合が該当）と9点未満の場合を比較した。

仕事の負担（量）に係る3項目の質問で9点以上の者と9点未満の者の平均ストレス得点を比較すると、B分野「仕事のストレス要因」（3.7点高い）はもちろん、各要素で9点以上の者の平均ストレス得点が高くなっている。仕事負担（量）が、全体的な仕事のストレスに大きく相関していることが判る（表15）

表15 仕事量とストレス点数

	件数	比率	A分野				B分野	C分野	B分野 ＋ C分野
			心とからだに 現れた反応29 項目	うち心的反 応18項目	うち抑うつ6 項目	うち身体愁訴 11項目	仕事の ストレス要因 17項目	サポー ト9項目	仕事の ストレス因17 項目 ＋ サポー ト9項目
全体平均	55,450	100.0%	56.2	37.3	10.1	18.9	41.2	19.7	60.9
高ストレス者(新) 平均	6,366	11.5%	82.2	55.4	16.4	26.8	49.6	23.8	73.3
仕事の量の点数別労働者									
仕事量の点数 ≥ 9/12	26,158	47.2%	60.6	40.7	11.0	19.9	44.9	19.9	64.8
全体平均との差	—	—	4.4	3.4	0.9	1.0	3.7	0.2	3.9
偏差(%)	—	—	7.8%	9.1%	8.9%	5.3%	9.0%	1.0%	6.4%
仕事量の点数 < 9/12	29,292	52.8%	52.3	34.3	9.3	18.0	37.9	19.6	57.5

※仕事量の点数＝「そうだ」を4、「まあそうだ」を3、「ややちがう」を2、「ちがう」を1として算出

イ 仕事のコントロールとストレス得点

仕事のコントロールに係る 3 項目の質問で 9 点以上の者（主に「ちがう」、「ややちがう」と回答）と 9 点未満の者の平均ストレス得点を比較すると、仕事のストレス要因（5.1 点高い）はもちろん、各要素で 9 点以上の者の平均ストレス得点が高くなっている。仕事のコントロールの有無が、全体的な仕事のストレスに大きく相関していることが判る（表 16）

表 16 仕事のコントロール度とストレス点数

	件数	比率	A 分野				B 分野	C 分野	B 分野 + C 分野
			心とからだに 現れた反応 29 項目	うち心理的 反応 18 項目	うち抑うつ 6 項目	うち身体 愁訴 11 項目	仕事の ストレス 要因 17 項目	サポー ト 9 項目	仕事の ストレス 要因 17 項目 + サポー ト 9 項目
全体平均	55,450	100.0%	56.2	37.3	10.1	18.9	41.2	19.7	60.9
高ストレス者(新) 平均	6,366	11.5%	82.2	55.4	16.4	26.8	49.6	23.8	73.3
仕事のコントロール度の点数別労働者									
コントロール度 点数 ≥ 9/12	16,198	29.2%	62.0	41.7	11.4	20.3	46.3	21.4	67.7
全体平均との差	—	—	5.8	4.4	1.3	1.4	5.1	1.7	6.8
偏差(%)	—	—	10.3%	11.7%	12.9%	7.4%	12.4%	8.6%	11.2%
コントロール度 点数 < 9/12	39,252	70.8%	53.8	35.6	9.6	18.3	39.0	19.1	58.1

※仕事の裁量性の点数＝「そうだ」を1、「まあそうだ」を2、「ややちがう」を3、「ちがう」を4として算出

ウ 上司・同僚のサポートとストレス得点

上司・同僚のサポートに係る 6 項目の質問で 18 点以上の者（主に「多少」、「全くない」と回答）と 18 点未満の者の平均ストレス得点を比較すると、サポートはもちろん、各要素で 18 点以上の者の平均ストレス得点が高くなっている。サポートの有無が、全体的な仕事のストレスに大きく相関していることが判る（表 17）

表 17 上司及び同僚のサポートとストレス点数

	件数	比率	A 分野				B 分野	C 分野	B 分野 + C 分 野
			心とからだに 現れた 反応29 項目	うち心理的 反応18 項目	うち抑 うつ6 項目	うち身 体愁訴 11項目	仕事の ストレス 要因 17項目	サポー ト9項 目	仕事の ストレ ス因17 項目 + サポー ト9項目
全体平均	55,450	100.0%	56.2	37.3	10.1	18.9	41.2	19.7	60.9
高ストレス者(新) 平均	6,366	11.5%	82.2	55.4	16.4	26.8	49.6	23.8	73.3
サポートの点数別労働者									
サポート 点数 ≥ 18/24	13,262	12.5%	63.2	42.6	11.8	20.7	44.6	25.5	70.1
全体平均との差	—	—	7.0	5.3	1.7	1.8	3.4	5.8	9.2
偏差(%)	—	—	12.5%	14.2%	16.8%	9.5%	8.3%	29.4%	15.1%
サポート 点数 < 18/24	42,188	87.5%	54.0	35.7	9.6	18.3	40.1	17.9	58.0

※サポートの点数＝「非常に」を1、「かなり」を2、「多少」を3、「全くない」を4として算出

エ 仕事の負担（量）、コントロール、サポートのストレスへの影響

仕事の負担（量）、仕事のコントロール、上司・同僚のサポートの3つの要素の仕事のストレスへの影響をみるため、各要素のストレス点数が高い者と全体平均との差を下表に示した。

仕事のストレス要因以外、すべてサポートのストレス点数が高い者との差が大きく、上司・同僚のサポートが、労働者の仕事のストレスに大きく影響していることが判る。

また、仕事の負担（量）と仕事のコントロールを比較すると、すべての分野で仕事のコントロールのストレス点数が高い者との差が大きく、仕事の負担（量）より仕事のコントロールの方が労働者の仕事のストレスに大きく影響していることが判る（表18）。

表18 仕事の負担（量）、コントロール、サポートのストレスへの影響

	件数	比率	A 分野				B 分野	C 分野	B 分野 + C 分 野
			心とからだに 現れた 反応29 項目	うち心理的 反応18 項目	うち抑 うつ6 項目	うち身 体愁訴 11項目	仕事の ストレス 要因 17項目	サポー ト9項 目	仕事の ストレ ス因17 項目 + サポー ト9項目
全体平均	55,450	100.0%	56.2	37.3	10.1	18.9	41.2	19.7	60.9
仕事量 点数 ≥ 9/12	26,158	47.2%	60.6	40.7	11.0	19.9	44.9	19.9	64.8
全体平均との差	—	—	4.4	3.4	0.9	1.0	3.7	0.2	3.9
コントロール 点数 ≥ 9/12	16,198	29.2%	62.0	41.7	11.4	20.3	46.3	21.4	67.7
全体平均との差	—	—	5.8	4.4	1.3	1.4	5.1	1.7	6.8
サポート 点数 ≥ 18/24	13,262	12.5%	63.2	42.6	11.8	20.7	44.6	25.5	70.1
全体平均との差	—	—	7.0	5.3	1.7	1.8	3.4	5.8	9.2

(4) 時間外労働時間とストレス得点

全衛連ストレスチェックサービスでは、チェックシートにおいてストレス得点関連 55 項目の他に「先月の時間外労働時間（残業）はどれくらいでしたか」の質問を設定して、「1. 45 時間未満」「2. 45～60 時間未満」「3. 60～80 時間未満」「4. 80～100 時間未満」「5. 100 時間以上」選択的回答を求めて、その結果を医師面接及び相談対応の対象者を選定する上での、あるいは産業医等の保健指導を行う上での参考として活用している。

時間外労働時間と平均ストレス得点の関係をみると、平均ストレス得点は、時間外労働時間が長くなるのに比例して、A 分野、B 分野、C 分野とも高くなっている。しかしながら、100 時間以上の者は、各要素において、80～100 時間未満の者より低くなっている。この傾向は旧サービスにおいても同様であった（表 19）。

表 19 時間外労働と平均ストレス点数

	件数	比率	A 分野				B 分野	C 分野	B 分野 + C 分野	合計
			心とからだに現れた反応	うち心理的反応18項目	うち抑うつ6項目	うち身体愁訴11項目	仕事のストレス要因17項目	サポート9項目	仕事のストレス因17項目＋サポート9項目	57 項目
全体平均	55,450	100.0%	56.2	37.3	10.1	18.9	41.2	19.7	60.9	121.4
時間外労働時間別労働者										
0～45時間未満	14,740	26.6%	55.7	36.8	9.9	18.9	40.6	19.8	60.4	120.3
45～60時間未満	1,384	2.5%	59.7	40.0	10.9	19.6	43.0	20.3	63.2	127.4
60～80時間未満	777	1.4%	61.4	41.4	11.2	19.9	44.2	20.6	64.7	130.7
80～100時間未満	266	0.5%	62.2	41.6	11.3	20.6	44.0	20.1	64.1	130.9
100時間以上	157	0.3%	61.7	41.1	10.8	20.6	43.3	19.9	63.2	129.5
不明	38,126	68.8%	56.1	37.3	10.1	18.8	41.2	19.7	60.9	121.3

(5) 相談希望者のストレス得点

全衛連ストレスチェックサービスでは、チェックシートにおいて「こころの健康問題について何か相談したいことがありますか」との設問を設定して回答を求め、その結果を、医師面接及び相談対応の対象者を選定する上での、あるいは産業医等の保健指導を行う上での参考として活用している。

相談希望者の平均ストレス得点は、A分野、B分野、C分野とも全体平均より高いが、高ストレス者の平均よりは低かった（表19）。

表20 相談希望と平均ストレス点数

	件数	全体に対する比率	A分野				B分野	C分野	B分野＋C分野	合計
			心とからだに現れた反応	うち心理的反応18項目	うち抑うつ6項目	うち身体愁訴11項目	仕事のストレス要因17項目	サポート9項目	仕事のストレス因17項目＋サポート9項目	57項目
全体平均	55,450	100.0%	56.2	37.3	10.1	18.9	41.2	19.7	60.9	121.4
相談希望者	284	0.5%	72.6	48.7	14.3	24.0	46.1	21.9	67.9	145.7
高ストレス者 (新判定基準該当者)	6,366	11.5%	82.2	55.4	16.4	26.8	49.6	23.8	73.3	161.1

(6) 各尺度の評価別ストレス得点

ア 心身の反応と平均ストレス得点

表21は、心身のストレス反応について標準化得点を用いた方法により、「活気」「イライラ感」「疲労感」「不安感」「抑うつ感」「身体愁訴」の各尺度の平均ストレス得点を算出し、心身の反応とA分野、B分野、C分野における平均ストレス得点の関係を見たものである。

「活気」「イライラ感」「疲労感」「不安感」「抑うつ感」「身体愁訴」の各尺度ともストレス度が高くなるほど各要素の平均ストレス得点が高くなり、どの尺度も、全体的な仕事のストレスの程度に相関していることが判る。

表 2 1 心身の反応の項目の評価レベル別平均トレス点数

	受診者数	全体に対する比率	A 分野				B 分野	C 分野	B 分野 + C 分野	合計
			心とかからだに現れた反応29項目	うち心理的反応18項目	うち抑うつ6項目	うち身体愁訴11項目	仕事のストレス要因17項目	サポート9項目	仕事のストレス要因17項目 + サポート9項目	57項目
活気										
低い	7,340	13.2%	70.1	48.1	13.3	22.0	46.1	23.2	69.3	144.7
やや低い	8,663	15.6%	63.6	43.0	11.5	20.5	43.5	21.5	65.0	133.4
普通	21,729	39.2%	55.8	37.1	9.9	18.7	40.9	19.7	60.7	120.7
やや高い	12,742	23.0%	49.5	32.0	8.7	17.5	38.9	18.0	56.9	110.2
高い	4,872	8.8%	42.2	26.2	7.4	16.0	36.5	16.1	52.6	97.9
評価外	104	0.2%	32.4	24.0	3.3	8.5	45.5	14.4	59.9	95.7
イライラ感										
高い	3,841	6.9%	78.1	54.3	15.1	23.8	48.0	22.7	70.7	154.1
やや高い	10,273	18.5%	66.1	45.1	12.2	21.0	44.4	21.2	65.6	136.5
普通	21,854	39.4%	56.8	37.7	10.1	19.1	41.5	20.0	61.5	122.5
やや低い	11,447	20.6%	48.5	31.4	8.4	17.2	38.6	18.5	57.2	109.6
低い	7,950	14.3%	42.7	27.0	7.4	15.7	36.3	17.6	54.0	100.2
評価外	85	0.2%	27.7	20.2	2.6	7.5	46.1	13.4	59.4	90.5
疲労感										
高い	3,384	6.1%	81.9	56.1	15.8	25.8	49.1	22.1	71.1	158.3
やや高い	11,420	20.6%	67.8	45.9	12.5	21.9	44.8	20.8	65.5	138.1
普通	24,085	43.4%	55.6	36.9	9.9	18.7	41.1	19.8	60.9	120.7
やや低い	10,104	18.2%	46.7	30.2	8.0	16.5	38.1	18.8	56.9	107.5
低い	6,370	11.5%	39.8	25.5	7.0	14.3	35.5	18.0	53.5	96.8
評価外	87	0.2%	25.9	19.0	2.0	6.9	46.9	14.0	60.9	90.1
不安感										
高い	3,744	6.8%	80.8	56.1	16.5	24.7	48.7	22.3	71.0	157.1
やや高い	9,750	17.6%	68.0	46.4	13.0	21.6	44.8	21.0	65.9	138.6
普通	25,314	45.7%	55.6	36.8	9.8	18.8	41.2	19.8	61.0	120.9
やや低い	8,574	15.5%	46.9	30.2	7.8	16.7	38.3	18.7	57.0	107.8
低い	7,976	14.4%	42.5	26.9	7.1	15.5	35.9	18.1	54.0	100.1
評価外	92	0.2%	26.2	18.5	1.6	7.7	45.8	13.8	59.6	89.1
抑うつ感										
高い	3,484	6.3%	83.9	58.4	19.4	25.5	48.0	23.1	71.2	160.6
やや高い	8,960	16.2%	70.4	48.1	14.3	22.3	45.1	21.7	66.8	142.2
普通	20,077	36.2%	58.0	38.7	10.4	19.4	41.8	20.2	62.0	124.5
やや低い	11,682	21.1%	48.5	31.4	7.5	17.1	39.2	18.7	58.0	110.3
低い	11,159	20.1%	41.3	26.1	6.0	15.2	36.6	17.4	54.0	98.7
評価外	88	0.2%	25.0	19.2	0.6	5.8	47.0	13.9	60.8	89.2
身体愁訴										
高い	3,835	6.9%	82.2	51.2	15.1	31.0	47.0	22.4	69.5	156.9
やや高い	9,301	16.8%	68.6	44.0	12.2	24.6	43.9	21.1	65.1	138.4
普通	21,619	39.0%	56.9	37.8	10.1	19.1	41.4	19.9	61.3	122.5
やや低い	16,018	28.9%	46.6	32.2	8.4	14.5	39.0	18.8	57.8	108.3
低い	4,590	8.3%	40.2	28.5	7.5	11.7	37.0	17.6	54.6	98.3
評価外	87	0.2%	25.2	21.8	2.4	3.4	46.6	12.5	59.1	87.2

イ 原因と考えられる因子（仕事の負担等）と平均ストレス得点

表 22 は、仕事のストレス因子について標準化得点を用いた方法により、「仕事の負担（量）」「仕事の負担（質）」「仕事の対人関係」の各尺度の平均ストレス得点を算出し、心身の反応と A 分野、B 分野、C 分野における平均ストレス得点の関係を見たものである。

各尺度のストレス度が高くなるほど、各要素の平均ストレス得点が高くなり、どの尺度も、全体的な仕事のストレスの程度に相関していることが判る。ただし、職場環境によるストレスの「低い」者と「やや低い」者では、一部逆転が生じている。

表 2 2 原因と考えられる因子（仕事の負担等）項目の評価レベル別平均トレス点数

	受診者数	全体に対する比率	A 分野				B 分野	C 分野	B 分野 + C 分野	合計
			心とからだに現れた反応29項目	うち心理的反応18項目	うち抑うつ6項目	うち身体愁訴11項目	仕事のストレス要因17項目	サポート9項目	仕事のストレス因子17項目 + サポート9項目	57項目
心理的な仕事の負担(量)										
高い	3,634	6.6%	68.5	46.8	12.8	21.7	49.8	20.6	70.4	143.7
やや高い	10,277	18.5%	62.0	41.7	11.2	20.3	45.7	19.9	65.6	132.1
普通	25,700	46.3%	55.8	37.0	9.9	18.8	41.4	19.7	61.1	121.1
やや低い	11,450	20.6%	51.1	33.5	9.1	17.6	37.2	19.6	56.8	112.0
低い	4,330	7.8%	48.2	31.4	8.7	16.8	32.2	19.5	51.7	103.9
評価外	59	0.1%	38.6	26.8	5.1	11.8	53.2	12.8	66.0	107.7
心理的な仕事の負担(質)										
高い	5,208	9.4%	64.7	43.4	11.8	21.3	48.0	19.8	67.8	137.0
やや高い	14,707	26.5%	59.6	39.7	10.7	19.9	44.2	19.7	63.9	127.9
普通	21,740	39.2%	55.0	36.5	9.9	18.5	40.7	19.8	60.5	119.8
やや低い	10,784	19.4%	52.0	34.4	9.3	17.7	37.1	19.8	56.9	113.1
低い	2,960	5.3%	48.6	31.9	8.7	16.7	31.9	19.5	51.5	104.1
評価外	51	0.1%	37.4	26.7	4.8	10.6	52.6	13.6	66.2	106.7
自覚的な身体的負担度										
高い	8,973	16.2%	61.0	40.7	10.9	20.4	45.9	20.0	65.9	131.4
やや高い	14,838	26.8%	56.3	37.5	10.1	18.9	42.5	19.9	62.4	123.0
普通	18,020	32.5%	55.5	36.9	10.0	18.6	40.6	19.8	60.4	120.1
やや低い	13,553	24.4%	53.9	35.6	9.7	18.3	37.3	19.3	56.6	114.7
評価外	66	0.1%	43.5	30.2	6.6	13.3	49.0	15.0	64.0	110.9
職場の対人関係でのストレス										
高い	2,662	4.8%	72.9	49.9	14.1	23.0	51.7	24.2	75.9	154.2
やや高い	9,130	16.5%	63.9	43.1	11.8	20.8	46.3	22.2	68.5	137.3
普通	23,912	43.1%	56.5	37.6	10.1	18.9	41.7	20.1	61.8	122.6
やや低い	15,139	27.3%	51.4	33.7	8.9	17.7	37.7	18.1	55.8	111.0
低い	4,527	8.2%	46.1	29.5	7.9	16.5	33.4	15.7	49.1	98.4
評価外	80	0.1%	39.2	27.6	5.8	11.7	49.6	13.6	63.2	105.7
職場環境によるストレス										
高い	6,309	11.4%	64.6	43.1	11.7	21.5	47.0	21.6	68.6	138.1
やや高い	12,174	22.0%	59.1	39.3	10.6	19.8	43.6	20.7	64.3	127.9
普通	21,525	38.8%	55.8	37.1	10.0	18.7	41.0	19.9	60.9	120.9
やや低い	8,905	16.1%	50.6	33.7	9.1	16.9	37.0	18.1	55.1	109.5
低い	6,409	11.6%	52.1	34.1	9.1	18.0	37.1	17.9	55.0	110.9
評価外	128	0.2%	45.4	31.3	7.4	14.1	47.0	16.7	63.7	112.8

ウ 原因と考えられる因子（仕事のコントロール等）と平均ストレス得点

表 23 は、仕事のストレス因子について標準化得点を用いた方法により、「仕事のコントロール」「技能の活用度」「仕事の適正度」「働きがい」の各尺度の平均ストレス得点を算出し、心身の反応と A 分野、B 分野、C 分野における平均ストレス得点の関係を見たものである。

各尺度のストレス度が高くなるほど、各要素の平均ストレス得点が高くなり、どの尺度も、全体的な仕事のストレスの程度に相関していることが判る。

表 2 3 原因と考えられる因子（コントロール度等）項目の評価レベル別平均トレス点数

	受診者数	全体に対する比率	A 分野				B 分野	C 分野	B 分野 + C 分野	合計
			心とからだに現れた反応 29 項目	うち心理的反応 18 項目	うち抑うつ 6 項目	うち身体愁訴 11 項目	仕事のストレス要因 17 項目	サポート 9 項目	仕事のストレス因子 17 項目 + サポート 9 項目	57 項目
仕事のコントロール度										
低い	3,161	5.7%	67.3	45.8	12.7	21.5	50.4	22.7	73.1	145.6
やや低い	9,481	17.1%	61.2	41.2	11.2	20.0	45.9	21.2	67.2	133.1
普通	24,433	44.1%	56.7	37.7	10.1	19.0	41.6	19.9	61.6	122.5
やや高い	14,804	26.7%	51.9	34.1	9.2	17.8	37.4	18.5	55.9	111.7
高い	3,531	6.4%	48.3	31.2	8.4	17.1	32.7	16.9	49.6	101.4
評価外	40	0.1%	31.0	23.2	3.8	7.7	50.5	10.4	60.9	94.5
技能の活用度										
低い	2,805	5.1%	64.5	43.5	12.2	21.0	46.7	22.3	69.0	138.4
やや低い	11,953	21.6%	58.6	39.1	10.8	19.5	43.0	21.0	64.0	127.2
普通	29,081	52.4%	55.6	36.9	9.9	18.7	40.9	19.6	60.5	120.3
やや高い	11,478	20.7%	53.3	35.1	9.3	18.2	38.5	18.1	56.7	113.9
評価外	133	0.2%	48.0	32.4	7.8	15.6	47.3	17.1	64.5	116.2
仕事の適性度										
低い	3,233	5.8%	71.0	48.7	14.2	22.2	49.5	22.8	72.2	148.9
やや低い	12,101	21.8%	62.0	41.9	11.6	20.1	44.6	21.2	65.9	132.8
普通	31,197	56.3%	54.5	36.0	9.6	18.5	40.4	19.5	59.9	118.5
高い	8,749	15.8%	49.1	31.7	8.4	17.4	36.1	17.4	53.5	105.9
評価外	170	0.3%	50.1	33.9	8.5	16.2	40.9	17.6	58.4	112.5
働きがい										
低い	3,772	6.8%	70.6	48.3	13.9	22.2	48.8	23.6	72.4	148.7
やや低い	12,173	22.0%	61.3	41.2	11.3	20.0	44.0	21.7	65.6	131.8
普通	28,691	51.7%	54.5	36.1	9.6	18.4	40.3	19.5	59.8	118.4
高い	10,441	18.8%	50.0	32.5	8.6	17.6	37.6	16.9	54.5	107.9
評価外	373	0.7%	52.5	35.0	9.1	17.5	39.6	18.7	58.4	114.9

エ 影響を与える他の因子（上司及び同僚等の支援の状況）と平均ストレス得点

表 24 は、周囲のサポートの状況について標準化得点を用いた方法により、「上司のサポート」「同僚のサポート」「家族・友人のサポート」「仕事や生活の満足度」の各尺度の平均ストレス得点を算出し、心身の反応と A 分野、B 分野、C 分野における平均ストレス得点の関係を見たものである。

各尺度のストレス度が高くなるほど、各要素の平均ストレス得点が高くなり、どの尺度も、全体的な仕事のストレスの程度に相関していることが判る。

表 2 4 影響を与える他の因子項目の評価レベル別平均トレス点数

	受診者数	全体に対する比率	A 分野				B 分野	C 分野	B 分野 + C 分野	合計
			心とからだに現れた反応29項目	うち心理的反応18項目	うち抑うつ6項目	うち身体愁訴11項目	仕事のストレス要因17項目	サポート9項目	仕事のストレス要因17項目 + サポート9項目	57項目
上司からのサポート										
低い	3,593	6.5%	67.3	45.7	12.8	21.6	47.0	26.5	73.5	146.0
やや低い	12,611	22.7%	60.2	40.4	11.0	19.8	43.5	23.5	67.0	131.9
普通	19,016	34.3%	56.4	37.4	10.1	19.0	41.2	20.7	61.8	122.5
やや高い	15,056	27.2%	52.6	34.5	9.2	18.1	39.1	16.7	55.8	112.3
高い	5,041	9.1%	49.1	32.1	8.6	17.1	37.3	11.5	48.9	101.3
評価外	133	0.2%	43.6	30.3	7.2	13.3	42.2	5.7	47.9	94.4
同僚からのサポート										
低い	4,425	8.0%	65.6	44.3	12.4	21.3	45.5	26.8	72.2	143.0
やや低い	18,729	33.8%	59.2	39.6	10.8	19.6	42.6	23.0	65.7	129.4
普通	20,239	36.5%	54.4	36.0	9.6	18.4	40.4	18.8	59.1	117.7
やや高い	8,046	14.5%	52.1	34.2	9.1	17.9	39.0	14.9	53.9	109.8
高い	3,898	7.0%	49.5	32.4	8.7	17.1	37.8	11.4	49.2	102.1
評価外	113	0.2%	41.4	29.0	6.8	12.4	42.3	4.7	47.0	91.0
家族・友人からのサポート										
低い	5,047	9.1%	64.2	43.2	12.3	21.0	43.8	26.8	70.5	140.2
やや低い	8,024	14.5%	59.8	40.0	11.0	19.8	42.4	23.4	65.8	130.4
普通	11,443	20.6%	56.6	37.7	10.2	18.9	41.4	21.2	62.6	123.6
やや高い	13,379	24.1%	55.5	36.8	9.9	18.7	40.8	18.7	59.5	119.2
高い	17,477	31.5%	52.6	34.6	9.1	18.0	40.0	16.0	55.9	112.2
評価外	80	0.1%	41.0	29.1	6.7	11.9	42.7	6.2	48.9	92.4
仕事や生活の満足度										
低い	2,368	4.3%	74.4	51.0	15.0	23.5	48.4	25.1	73.5	155.2
やや低い	6,541	11.8%	67.1	45.6	12.9	21.5	45.8	23.2	68.9	142.0
普通	32,600	58.8%	56.3	37.4	10.0	18.9	41.3	20.1	61.3	122.0
やや高い	9,284	16.7%	49.9	32.5	8.4	17.4	38.7	17.4	56.1	109.0
高い	4,526	8.2%	43.4	27.7	7.4	15.7	35.1	14.8	50.0	95.4
評価外	131	0.2%	46.7	32.2	7.7	14.6	42.2	13.1	55.3	103.2

4 新旧判定基準の検証

旧サービスにおいては、

① 心理ストレス反応（表 8 の 18 項目）の得点が 51 点以上の人（高ストレス状態）

② 抑うつ感（表 8 30～35 の 6 項目）の得点が 17 点以上の人（抑うつ傾向）

を面接指導対象者の判定基準とし、加えて、ストレスチェックシートの相談希望の有無欄に「希望あり」と記入した人を面接指導対象者としてきた。その結果、おおむね 10%程度が面接指導対象者とされた。

新サービスにおいては、国が示した判定基準に従い

① 心とからだに現れた反応 29 項目の得点（最高 118 点）の合計が 77 点以上の者

② 仕事のストレス要因 17 項目の得点（最高 68 点）とサポート 9 項目（最高 36 点）の合計が 76 点かつ心とからだに現れた反応 29 項目の得点が 63 点以上の者

を高ストレス者と判定することとした。

本報告書では、①、②の基準に該当する者（高ストレス者）について集計・分析している。

平成 27 年度全衛連ストレスチェックサービス（新サービス）で高ストレス判定基準に該当した受診者は 6,366 人（男性が 3,523 人、女性が 2,843 人）で、高ストレス者の比率は、全体では 11.5%であった（表 25）。

なお、新サービスでは、①、②に該当する人の一覧表に基づき、実施者（産業医等）が医師面接対象となる者の絞り込みあるいは追加を行い、医師面接を受けることの勧奨をしている。したがって、①、②に該当する人と、実際に医師面接を勧奨した人とは若干異なることとなる。

表 2 5

集計期間	集計対象 受診者数	高ストレス者 +抑うつ者	面接指導 対象者比率
平成 25 年度	64,592	6,962	10.8%
平成 26 年度	60,145	6,877	11.4%
平成 27 年度（旧サービス）	34,438	3,652	10.6%
集計期間	集計対象 受診者数	医師面接 対象者	医師面接 対象者比率
平成 27 年度（新サービス）	55,450	6,366	11.5%

注）集計対象受診者数は、集計・分析することに同意を得たデータ数である。

旧サービスの面接指導対象の選定基準と新サービスの高ストレス者判定基準を大幅に見直したが、新サービスによるストレスチェック受診者 55,450 人について、旧サービスによる面接指導対象者選定基準を当てはめてみたところ 12.5%が該当した（表 2 6）。

表 2 6 新旧判定基準による高ストレス者数と比率

	該当数	全体に対する比率
受診者数（集計対象）	55,450	100.0%
高ストレス者数(新判定基準該当者)	6,366	11.5%
A分野77点以上の者	5,092	9.2%
A分野66点以上かつ B分野＋C分野76点以上の者	3,094	5.6%
従来の基準による高ストレス者数	6,946	12.5%
心理的反応項目51点以上の者	6,260	11.3%
抑うつ項目17点以上の者	3,952	7.1%

凡例 A分野：心とからだに現れた反応
B分野：仕事のストレス要因
C分野：サポートの状況

以上のことから、旧サービスの面接指導対象の選定基準と新サービスの高ストレス者判定基準を大幅に見直したが、結果的には旧サービスにおける面接指導対象者と新サービスにおける高ストレス者はおおむね同一の集団が対象となっていると判断できる。

旧サービスと新サービスのサービス対象は連続していると言える。

5 医師面接及び相談対応の実施状況

全衛連ストレスチェックサービス（新サービス）においては、前記第3の前文に記載したとおり、国が示した高ストレスの判定基準を援用した判定基準により、医師面接の対象となる高ストレス者を選定することとしている。

高ストレスと判定された者等から申し出があった場合、事業者は、労働安全衛生法により「医師面接」を行わなければならないこととされている。

平成27年度（新サービス）の医師面接の対象となる高ストレス者（「医師面接対象者」という。）は6,366人で受診者の11.5%であった。このうち、実施機関で医師面を実施したのは51人である。労働者の申し出によらない相談対応71人と合わせると122人であった。

事業場産業医が医師面接あるいは相談対応を実施した数の情報がないため、全体の医師面接等の実施率等は不明である。

なお、平成27年度医師面接の結果、専門の医療機関に紹介した者は4名、医療情報の提供要請に返信があったのは1件であった（表27）。

表27 医師面接等実施状況

受診者数	医師面接対象者	実施機関による医師面接実施数	相談対応	医師面接＋相談対応件数	専門医療機関に紹介	医療情報提供書返信あり	通院中
55,450	6,366	51	71	122	4	1	3

6 職場評価結果の概要

前記第1の1の(3)に記したように、全衛連メンタルヘルスサービスでは、職場評価として、全国平均を100としたときに、仕事のストレスのために自覚症状の発生、疾病休業などの健康問題のリスクがどの程度増加するかを示してきたが、この形式は新サービスにおいても踏襲している。

平成27年度（新サービス）の利用事業場について業種別、職種別、職位別に、仕事の負担、職場の支援、総合評価の健康リスクを表29～31に示す（各表において100を超えている部分に網掛けして表示）。

(1) 事業場の業種別職場の健康リスク

総合評価で健康リスクが120を超えている業種はなく、100を超えているのは、金融・保健、医療・福祉の2業種である。

また、仕事の負担、職場の支援の健康リスクで120を超えている業種は漁業のみで、なく、100を超えているのは、仕事の負担では、金融・保健、医療・福祉の2業種であるが、職場の支援では、ほとんどの業種が100を超えている（表28）。

表 2 8 業種別職場の健康リスク

業種	受診者数	健康リスク		
		仕事の負担	職場の支援	総合
全国平均	-	100	100	100
農業、林業	582	94	97	88
漁業	5	88	121	77
建設業	261	96	102	92
製造業	15,677	99	107	98
電気・ガス・熱供給・水道業	173	98	102	96
情報通信業	82	97	102	94
運輸業、郵便業	1,602	92	106	84
卸業、小売業	7,244	97	103	94
金融業、保険業	4,407	101	90	102
不動産業、物品賃貸業	131	96	104	92
学術研究、専門・技術サービス業	253	94	106	88
宿泊業、飲食業	1,162	100	104	100
生活関連サービス業、娯楽業	845	95	104	90
教育、学習支援業	79	98	87	96
医療、福祉	7,353	103	100	106
複合サービス事業	2,467	96	102	92
サービス業（他に分類されないもの）	1,432	98	104	96
公務（他に分類されるものを除く）	7,127	99	94	98
その他	3,623	100	105	100
業種計	54,505	99.0	102.0	98.0
食料品製造業	1,941	101	110	102
飲料・たばこ・飼料製造業	56	98	105	96
繊維工業	195	96	100	92
木材・木製品製造業（家具を除く）	214	101	109	102
家具・装備品製造業	196	96	107	92
パルプ・紙・紙加工品製造業	180	103	112	106
印刷・同関連業	178	97	108	94
化学工業	596	93	99	86
プラスチック製品製造業	1,291	101	112	102
ゴム製品製造業	96	97	123	94
窯業・土石製品製造業	348	91	102	82
鉄鋼業	187	97	102	94
非鉄金属製造業	296	94	94	88
金属製品製造業	1,663	99	111	98
はん用機械器具製造業	106	91	108	82
生産用機械器具製造業	213	98	107	96
業務用機械器具製造業	372	98	111	96
電子部品・デバイス・電子回路製造業	1,345	99	107	98
電気機械器具製造業	1,578	104	106	108
輸送用機械器具製造業	1,499	101	108	102
その他の製造業	3,127	98	105	96
製造業計	15,677	99.0	107.0	98.0

※同意を得たデータ(55,450)のうち、集計可能な54,505件分を集計

(2) 受診者の雇用形態別職場の健康リスク

職場の支援に係る健康リスクが高く、正社員以外の健康リスクは全て 100 を超えている。特に出向、派遣社員では 110 を上回っている。

総合の健康リスクでは、100 を超えている雇用形態はない（表 29）。

表 29 雇用形態別職場の健康リスク

名称	受診者数	健康リスク		
		仕事の負担	職場の支援	総合
全国平均	-	100	100	100
正規社員	10,966	100	100	100
出向社員	24	89	113	79
派遣社員	56	97	113	94
パート社員	1,246	96	105	92
その他（どれにも該当しない場合）	8,737	96	101	92
未設定	33,476	100	102	100
全体	54,505	99.0	102.0	98.0

※同意を得たデータ(55,450)のうち、集計可能な54,505件分を集計

(3) 受診者の職種別職場の健康リスク

総合評価では、健康リスクが 120 を超えている業種はなく、100 を超えているのは、営業職及びサービス職である。

また、仕事の負担、職場の支援の健康リスクでも 120 を超えている職種はなく、100 を超えているのは、仕事の負担では営業職及びサービスの 2 職種、職場の支援では、半数を超える職種に及んでいる（表 30）。

表 30 職種別職場の健康リスク

名称	受診者数	健康リスク		
		仕事の負担	職場の支援	総合
全国平均	-	100	100	100
専門・技術職	1,491	98	97	96
事務職	4,618	100	96	100
営業職	326	104	96	108
販売職	275	97	102	94
サービス職	1,264	101	102	102
運輸・通信職	187	97	101	94
技能職（生産工程／労務作業）	1,719	98	108	96
その他（どれにも該当しない場合）	9,020	97	101	94
未設定	35,605	100	103	100
全体	54,505	99.0	102.0	98.0

※同意を得たデータ(55,450)のうち、集計可能な54,505件分を集計

【参考文献】

- 1) 労働省. 平成 11 年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書 2000.3
- 2) 全衛連. 平成 23 年度全衛連メンタルヘルスサービス実施結果報告書 2012.9
平成 24 年度全衛連メンタルヘルスサービス実施結果報告書 2013.9
平成 25 年度全衛連メンタルヘルスサービス実施結果報告書 2014.9
平成 26 年度全衛連メンタルヘルスサービス実施結果報告書 2015.9

公益社団法人 全国労働衛生団体連合会
会長 紀陸 孝

〒108-0014

東京都港区芝 4-11-5
田町ハラルビル5F

TEL 03-5442-5934

FAX 03-5442-5937